

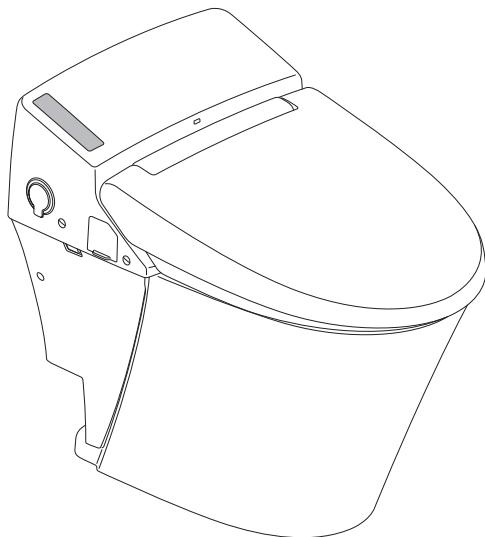


メーカー管理用です。

パブリック向けシャワートイレ一体型

DV-K213型,DV-K213G型

取扱説明書



このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、

必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書でご案内するWEB・動画の閲覧について

※1 通信料はお客さまのご負担となります。 ※2 お使いの環境/端末により閲覧できない場合があります。

安全上のご注意・必ずお守りください

3～7ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつくおそれがあります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

保証書別添

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
ご使用前の準備と確認	10
機能の紹介	15

使い方

使い方ガイド	17
流水音を再生する	20
便座の温度を変える	21
おしりを洗う	22
水を流す	24
脱臭する	26
節電する	26
電源の入/切を切り替える	28
お好みの設定にする	29

お手入れ

お手入れガイド	30
お手入れの準備をする	31
プラスチック部分のお手入れ	32
便器のお手入れ	33
本体と便器のすきまのお手入れ	34
ノズルのお手入れ	35
ノズルシャッターのお手入れ	39
脱臭カートリッジのお手入れ	41
サイドカバーの取外し/取付け	42
ストレーナーのお手入れ	44

こんなときは

停電したとき	46
断水したとき	47
凍結しそうなとき	47
長期間使用しないとき	51
リモコンの電池が切れたとき	53

修理を依頼する前に

よくあるお問い合わせ	55
------------	----

アフターサービス

製品の長期使用について	66
点検・交換をする	68
修理を依頼する	73
保証を延長する	74

仕様

機能/性能について	76
-----------	----

各種お問い合わせ窓口

裏表紙

基本的な使い方

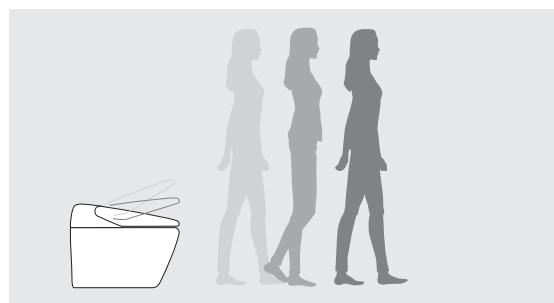
1 便座に座る

脱臭する	26
流水音を再生する	20
おしりを洗う	22



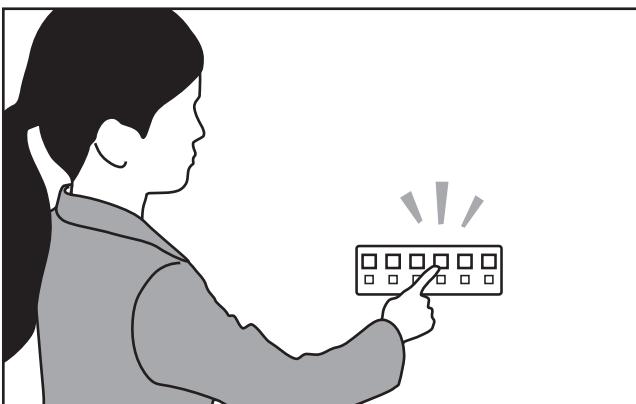
2 立ち上がる、立ち去る

水を流す	24
節電する	26



何が知りたいですか？

使い方がわからない



各部の名称	10
機能の紹介	15
使い方ガイド	17
お好みの設定に	29

お手入れのしかた



お手入れの場所と汚れの種類	30
お手入れに必要な道具	31
洗剤について	31
お掃除グッズの購入	72

困ったとき



停電した	46
断水した	47
凍結しそう	47
長期間使用しない	51
リモコンの電池を交換したい	53
よくあるお問い合わせ	55
修理を依頼する	73

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

◆補足 | • トイレ本体各部の名称 (☞ 10 ページ)

表示と意味



死亡または重傷を負うおそれがある内容です。



傷害や物的損害が発生するおそれがある内容です。



必ず実行していただく「指示実行」の記号です。



してはいけない「禁止」の記号です。



■故障したとき

故障とは

異音 / 異臭 / 発煙 / 高温 / 割れ / 漏水



- コンセントから電源プラグを抜く
- 止水栓を閉める
- 修理・交換を依頼する

(破損・けが・感電・火災のおそれ)



- 故障したまま使用しない

(けが・感電・火災・漏水のおそれ)

■設置・お手入れ・ご使用時



- 電源プラグを抜き差しする場合は、電源プラグ本体を持つ
- 電源プラグは根元まで差し込む
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリを拭き取る
- コンセントは次のものを使用する
 - ・アースターミナル付接地極付
 - ・ガタつきがない
- アース線をコンセントのアースターミナルに接続する
- AC100Vで使用する
(破損・感電・火災の原因)

- シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める
(感電・火災・室内浸水のおそれ)



- 電源プラグは濡れた手で触れない
- 水や洗剤をかけない
- 電源プラグはタコ足配線をしない
- 雷が発生しているときは触れない
(感電・火災の原因)

- 電源コードに次のことをしない
 - ・キズを付ける
 - ・破損する
 - ・加工する
 - ・無理に曲げる
 - ・引っ張る
 - ・ねじる
 - ・束ねる
 - ・重いものを載せる
 - ・挟み込む

(破損・感電・火災の原因)

安全上のご注意

■ご使用時



- ・化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する
(身体への著しい障がいをまねくおそれ)
- ・長時間使用や、次のような方が使う場合は、周りの方が便座温度を「切」にする
 - ・お子さま
 - ・お年寄り
 - ・病気の方
 - ・ご自分で温度調節できない方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
 - ・深酒された方
 - ・疲労が激しい方
(低温ヤケドのおそれ)

■電池



- ・ $\oplus\ominus$ を正しく入れる
- ・次の場合は、電池を取り出す
 - ・使い切った
 - ・長期間使用しない
- ・破棄する場合は、絶縁する
(火災の原因)
- ・充電式の電池は使用しない
(破損・火災の原因)
- ・乳幼児の手の届く場所に置かない
(誤飲の原因)
→誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・電池液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流す
- ・電池液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐにきれいな水で洗う
(失明のおそれ)
→処置をした後、すぐに医師に相談してください。
- ・金属製のものと一緒にしない
- ・新しい電池と古い電池、種類の異なる電池と一緒に使用しない
- ・加熱しない
- ・分解しない
- ・水や火の中に入れない
(火災の原因)

安全上のご注意

■設置環境

-  • 凍結のおそれがある場合は、凍結防止操作をする（☞ 47ページ）
(火災・室内漏水の原因)

-  • バスルームなど湿気の多い場所に設置しない
(感電・火災の原因)

■その他

-  • 新築／改築工事後や、水道断水の復旧後は配管内の空気を抜く
(器具・配管の破損・故障の原因
けが・財産損害のおそれ)

-  • 分解／改造をしない
(感電・火災・けがの原因)

⚠ 注意

■設置・お手入れ・お掃除

-  • 電源プラグをコンセントから抜く
(感電のおそれ)

- 洗剤を使用する場合は換気する
- 洗剤で掃除した後は、便フタ・便座を開けておく
(体調不良のおそれ)

-  • プラスチック部のお手入れは、次の洗剤を使用しない
 - ・トイレ用洗剤
 - ・住宅用洗剤
 - ・漂白剤
 - ・ベンジン
 - ・シンナー
 - ・クレンザー
 - ・クレゾール
(破損・けが・感電・火災のおそれ)

- 便器(陶器)のお手入れは、次の洗剤を使用しない
 - ・強いアルカリ性洗剤
 - ・フッ素系洗剤
 - ・研磨剤入りの洗剤
(キズが付くおそれ)
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸性洗剤
 - ・消毒剤
(故障・破損の原因)

安全上のご注意

■止水栓・給水ホース



- 水道水および飲用可能な井戸水に接続する
(腐食・感電・火災・皮膚の炎症の原因)
→飲用可能な井戸水でも水アカの付着、腐食などの発生で、修理が必要な故障が起きやすくなる場合がありますので定期的なメンテナンスが必要です。また、井戸水は環境によって変化する場合があるので、定期的な水質検査や水質改善設備の維持管理などが必要です。
- ストレーナーを外す場合は、止水栓を閉める
- ストレーナーを外すときは、給水ホースにキズを付けない
- ストレーナーはすき間がないように取り付ける
- ストレーナーを取り付ける場合は、Oリングにゴミが付着していないことを確認する
(漏水・室内浸水の原因)



- 止水栓に無理な力を加えない
 - 給水ホースに次のようなことをしない
 - ・折り曲げる
 - ・つぶす
- (漏水・室内浸水・破損の原因)

■トイレ本体・便器



- 便フタや本体の上に乗らない
- 便フタにもたれない
(破損・けがのおそれ)
- 便器に熱湯を注がない
- 便器に強い衝撃を与えない
(破損・漏水・けがのおそれ)
- 破損している部分に触れない
(けがのおそれ)

■脱臭カートリッジ



- 脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない
(けがのおそれ)

安全上のご注意

■その他



- ・次のような方が使用する場合は、周りの方が転倒に注意する
 - ・お子さま
 - ・お年寄り
 - ・ご自分で座ることや立ち上がることができない方
(けが・破損のおそれ)
- ・長期間使用しない場合は、次の操作をする(☞51ページ)
 - ・水抜き
 - ・電源プラグを抜く
(火災・室内浸水・皮膚の炎症のおそれ)
- ・定期的に水漏れがないか確認する
(財産損害のおそれ)
- ・タバコや灰皿などの火気類を近づけない
(火災のおそれ)

使用上のご注意

お願ひ

■全体

- ・直射日光を当てないでください。
(変色・作動不良の原因)
- ・暖房機器を近づけないでください。
(変色・故障の原因)
- ・スプレーなどを使用する場合は、換気してください。
(光沢の消失・故障の原因)

■プラスチック部 (便フタ / 便座 / カバー類 / リモコン)

- ・乾いた布やトイレットペーパーによる拭き取り、およびメラミンスポンジを使用しないでください。
(☞32ページ)
(光沢の消失・キズの原因)
- ・トイレ用消臭剤をかけないでください。
(光沢の消失・故障の原因)

■便フタ・便座

- ・便フタ / 便座の開閉は乱暴に行わないでください。
(故障・破損・漏電の原因)
- ・便フタカバー・便座カバーは取り付けないでください。
(故障・破損の原因、便フタが倒れるおそれ)

■リモコン

- ・水や洗剤をかけないでください。
- ・濡れた手で操作しないでください。
(故障の原因)

使用上のご注意

お願い(つづき)

■電源プラグ・コンセント

- 電源プラグをコンセントに差し直したり、電源を「入」にした場合は、10秒程度時間をあけてください。
- 着座センサーを検知させたまま電源プラグをコンセントに差し込まないでください。シャワーが出ない場合があります。

■雷予報が出た場合

- 雷が発生する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。
(故障の原因)

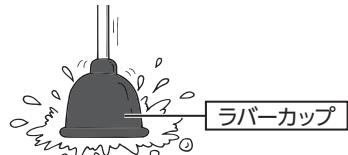
■便器の詰まりを防ぐ

動画で確認

便器が詰まったとき



- トイレットペーパーを使用してください。
- 1回の洗浄で流れきらないことがあります。
- バリウムなど水に溶けにくく、重いものはトイレブラシで細かくしてから、数回水を流してください。
- 大洗浄で一度に流すトイレットペーパーの量は、5mを目安にしてください。(JIS規格を参考にした量)
- 配管が詰まるような異物を流さないでください。
→詰まった場合は水を流さず、市販の吸引器(商品名:ラバーカップ)で異物を取り除いてください。
(汚水があふれて床を汚すおそれ)



- 小用でも使用後は必ず水を流してください。
(洗浄不良や詰まりの原因)
- 溜水面から奥の便器内部に、ホースや硬いものを入れないでください。
(故障の原因)

知っておいていただきたいこと

■便座の温度

便座は一定の温度に調節しています。温度は、「切(室温)」「低(約28°C)」~「高(約36°C)」に切り替えることができます。

■低温やけど防止のために

着座センサーが1時間以上検知し続けると暖房便座が「切」の状態になります。

■便フタ・便座の開閉

衝撃をやわらげるために、ゆっくりと閉じる「スローダウン機構」が装備されています。

■シャワーの温度

「おしり洗浄」または「ビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約10分間かかります。

■洗浄の前後や温水温度を調節したときに

ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

■誤操作防止のために

人が座っていない場合に、誤って操作しても作動しないように、着座センサーが付いています。

■座って小便をする場合

座る位置をずらしたり、トイレットペーパーを敷いたりすることで、はね返りを抑えることができます。

使用上のご注意

知っておいていただきたいこと(つづき)

■リモコンの電池残量

リモコンの電池表示は電池の消耗をお知らせするものです。点滅したら新しい電池に交換してください。

■ラジオやテレビに雑音が入る

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

■ストレーナーの汚れがひどい場合

「ストレーナー」を掃除してください。(☞ 44 ページ)

- ・○リングにキズを付けないように注意してください。○リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
- ・鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
- ・網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

■漏電が発生した場合

(漏電保護機能付の電源プラグの場合)

漏電が発生すると、事故防止のために電気を遮断します。電源プラグの「表示ランプ」が点灯します。

(☞ 70 ページ)

■省エネのために

次のようにすると節電になります。

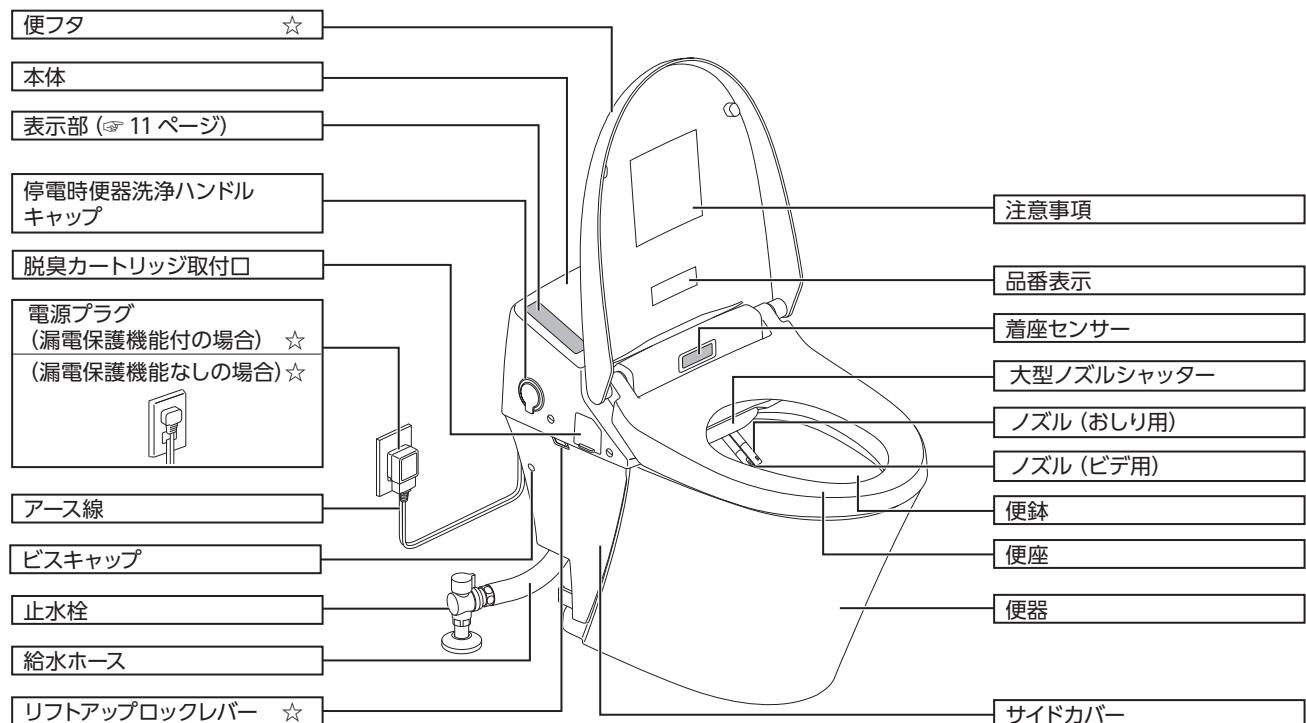
- ・使用した後は便フタを閉じる
- ・暖房便座や温水の設定を高温にしない
- ・気温に合わせてこまめに温度設定を調節する
- ・節電機能が付いている場合は利用する
- ・不在時は電源を「切」にする

ご使用前の準備と確認

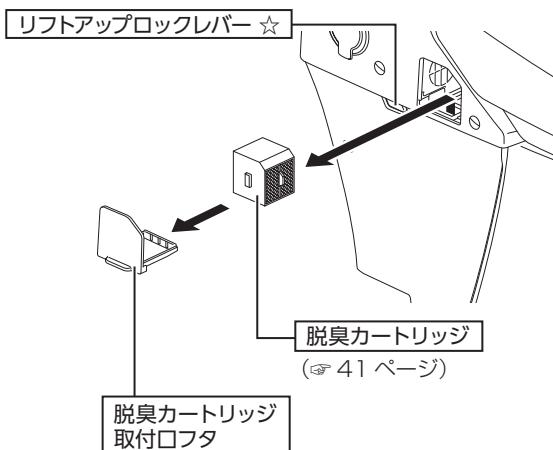
トイレ本体各部の名称

- 補足**
- ・機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。
 - ・本書のトイレのイラストと実際の形状が異なる場合があります。

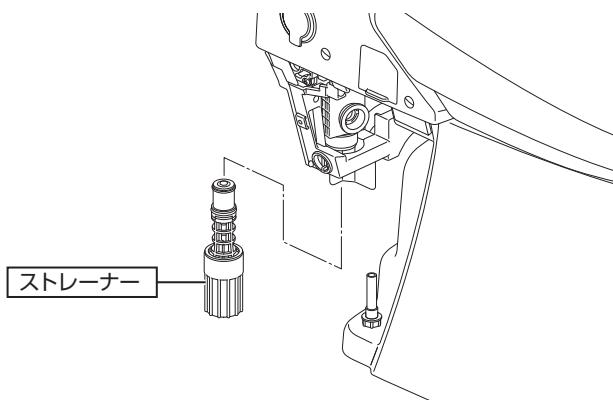
■トイレ全体



■本体左側面



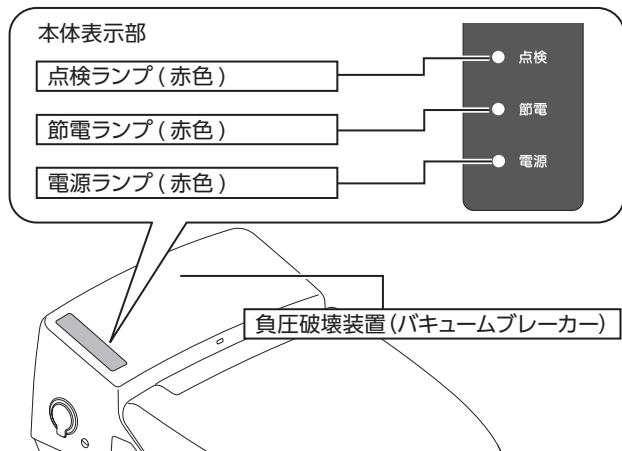
■本体左側面 (サイドカバー取外し状態)



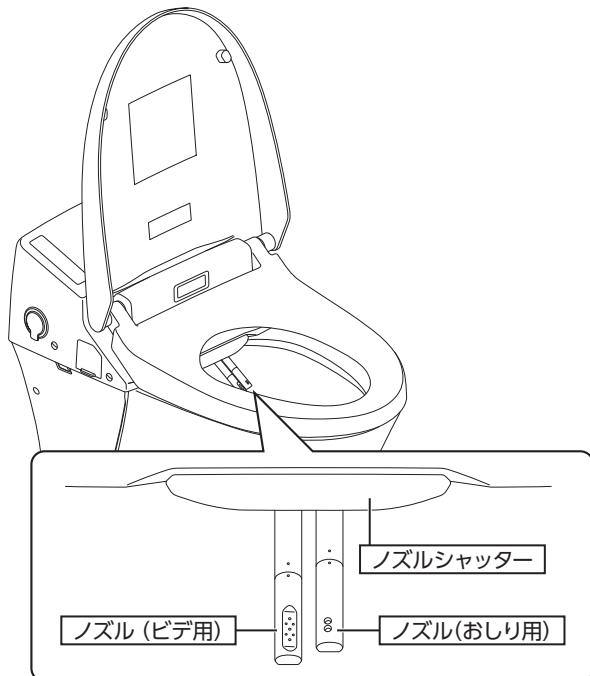
ご使用前の準備と確認

トイレ本体各部の名称(つづき)

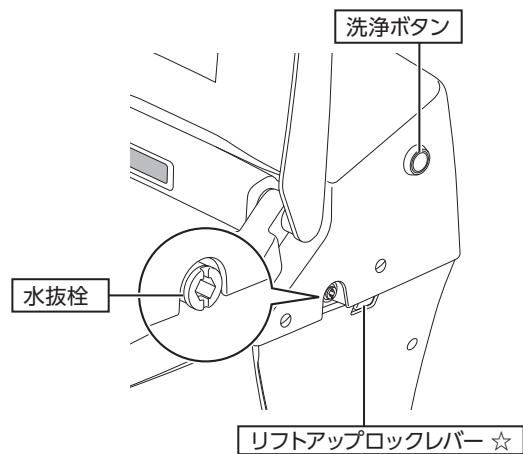
■本体左上面



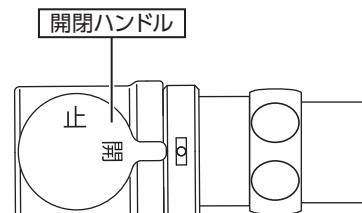
■ノズルまわり



■本体右側面



■止水栓

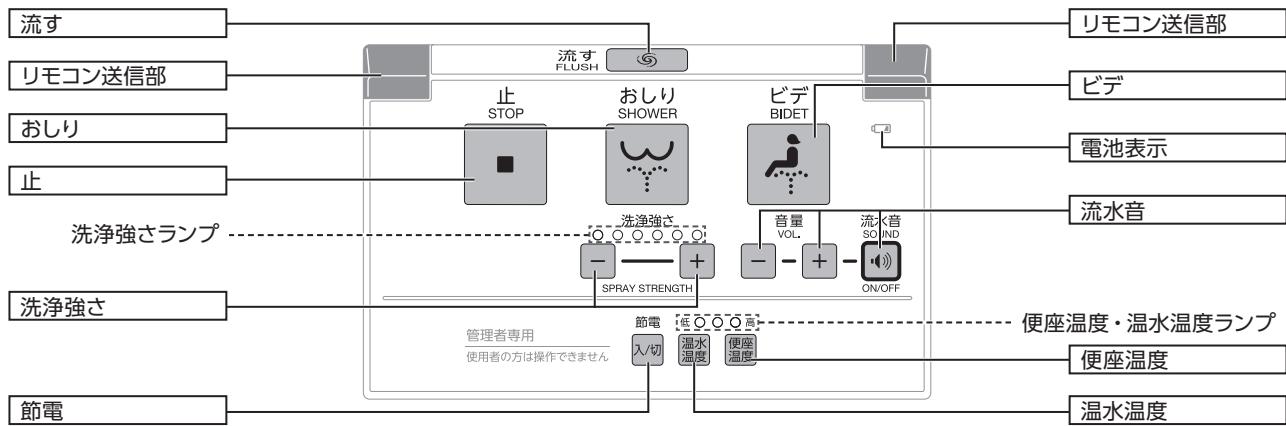


ご使用前の準備と確認

壁リモコン各部の名称

■壁リモコン

- ◆ 補足
・機種によっては、リモコンが異なる場合があります。リモコンに同梱の取扱説明書をご覧ください。
・温度・洗浄強さを切り替えた場合、リモコンのランプは点灯してから数秒後に消灯します。



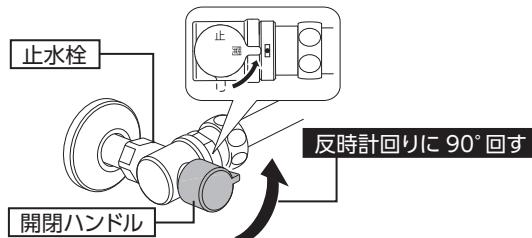
ご使用前の準備と確認

本書のリモコンボタン名称の記載がある手順は、そのボタンを押してください。

はじめてトイレをご使用になる前に

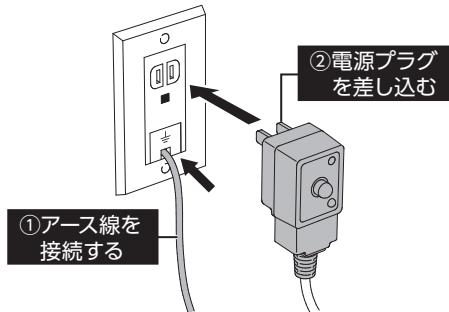
シャワートイレをはじめてご使用になる前に、準備と確認をしてください。

1 止水栓を開ける

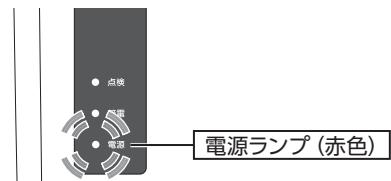


- 補足
- 止水栓は便器への洗浄水を止めるときに使用します。
 - 開閉ハンドルを反時計回りに 90° 回し、全開にしてください。

2 電源を接続する



3 本体表示部の「電源ランプ」が赤色に点灯していることを確認する



- 補足
- 点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押してください。
(漏電保護機能付の電源プラグの場合)
(☞ 70 ページ)
 - それでも点灯しないときは壁リモコンで電源を「入」にしてください。
(漏電保護機能付の電源プラグの場合)
(☞ 28 ページ)

4 シャワーが出ることを確認する



- 補足
- 覆う紙や布が黒色のとき、着座センサーが反応しない場合があります。

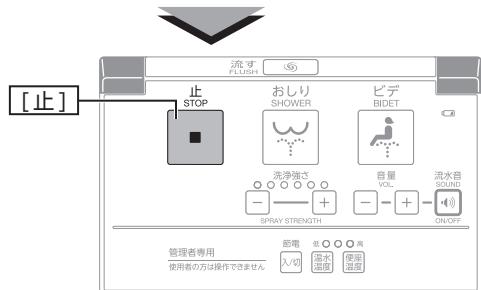


ご使用前の準備と確認

4



◆ 補足 • 温水タンクが満水でない場合、約 1 ~ 2 分かかることがあります。



着座センサーを覆っていた紙や布を取り去る

5

温度を調節する

◆ 補足 • 便座の温度 (☞ 21 ページ)
• シャワーの温度 (☞ 23 ページ)

機能の紹介

品番対応一覧

品番は、便フタ裏の品番表示（☞ 10 ページ）に記載されています。お持ちの機能を確認してください。
設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源ボタンを「切」にしても変更した設定は記憶されています。

◆ 補足 | • 「ステップ節電」「ワンタッチ節電」は、電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 26 ページ）

シリーズ名	グレード	品番
パブリック向けシャワートイレ一体型	K213	DV-K213 型、DV-K213G 型

キレイ機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番	
			DV-K213	DV-K213G
ハイパークリアミック (ISO 抗菌準拠)	—	—	○	○
パワーストリーク洗浄	—	76	○	○
お掃除リフトアップ	—	34	—	○
ノズルシャッター	—	39	○	○
ノズル先端着脱	—	37	○	○
キレイ便座	—	76	○	○
女性専用レディスノズル (ビデ)	—	22	○	○
ノズルオートクリーニング	入	35	○	○
便フタワンタッチ着脱	—	32	○	○
抗菌樹脂 (ISO 抗菌準拠)	—	76	○	○

エコ機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番	
			DV-K213	DV-K213G
超節水トイレ (ECO5)	—	76	○	○
ステップ節電	切	26	○	○
ワンタッチ節電 (8h)	切	26	○	○

機能の紹介

洗浄機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番	
			DV-K213	DV-K213G
おしり洗浄	3	22	○	○
ビデ洗浄(泡沫ソフト)	3	22	○	○

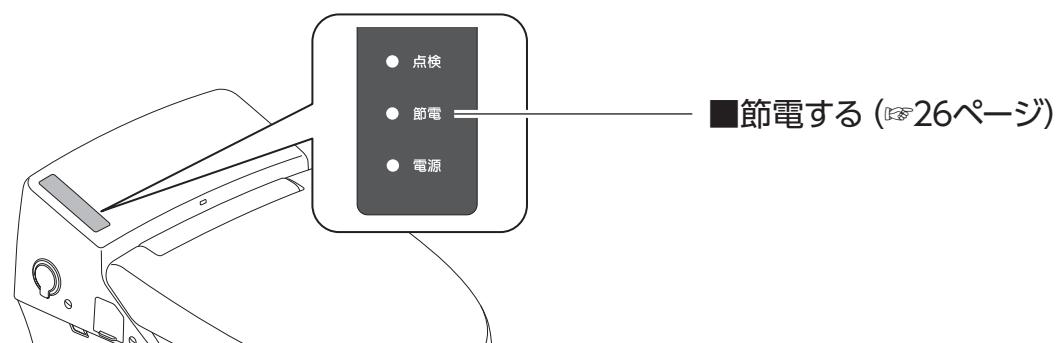
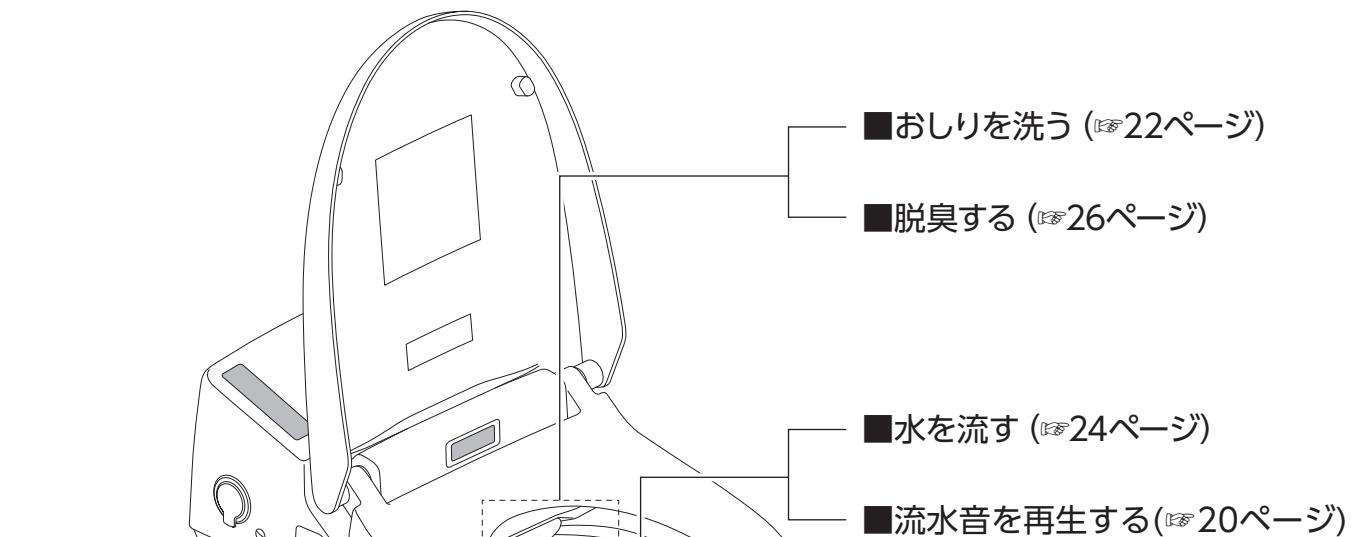
快適機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番	
			DV-K213	DV-K213G
フルオート便器洗浄	入 (10秒)	24	○	○
リモコン	—	12	○	○
Wパワー脱臭	入	26	○	○
暖房便座	低	21	○	○
スローダウン便座	—	76	○	○
便座ヒーターオート OFF	切	21	○	○
着座センサー	—	8	○	○
点字対応	—	—	○	○
擬音装置	—	20	○	○

使い方ガイド

トイレ本体

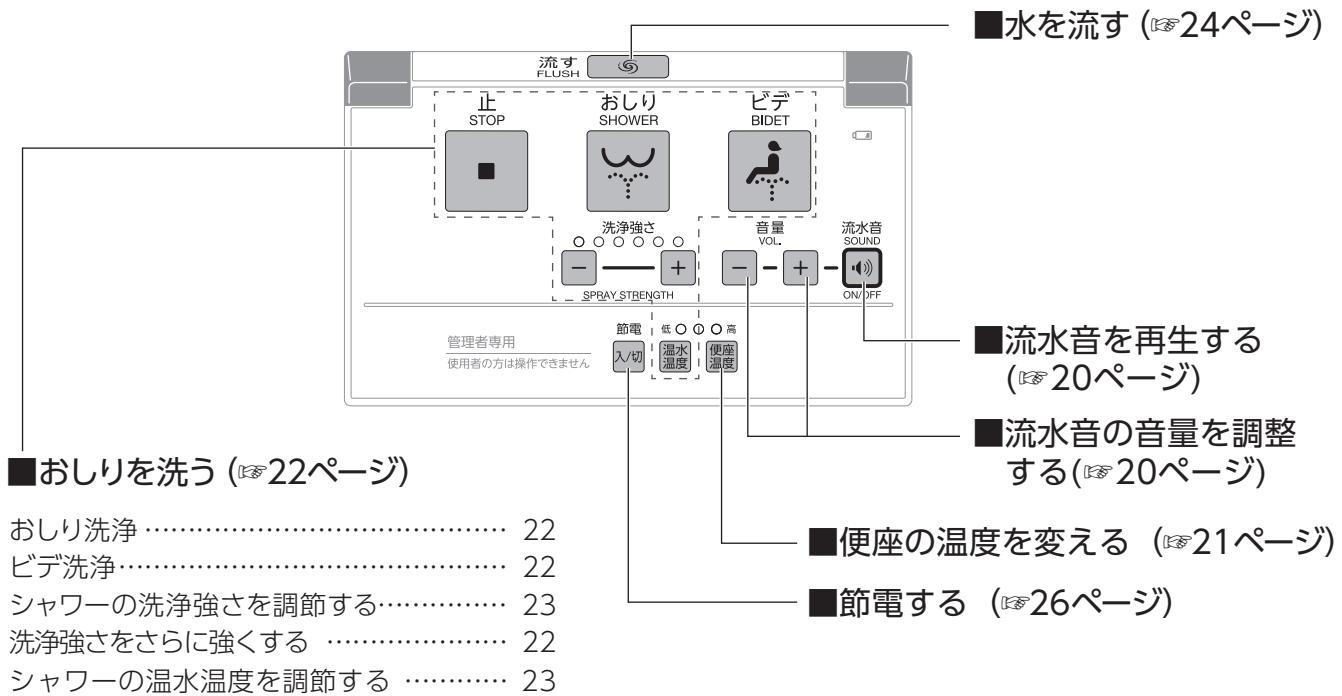
本体の部位別にかかる機能を紹介します。詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。



使い方ガイド

壁リモコン

基本的な操作は壁リモコンを使います。機能の詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。



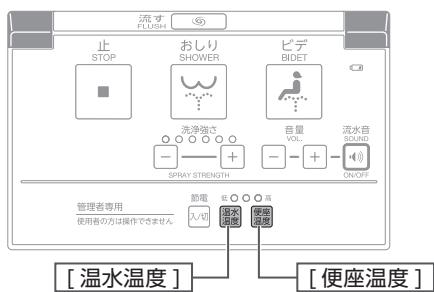
使い方ガイド

管理者モードの設定

温水温度や便座温度などの設定を変更する場合は、お客様による誤操作防止のため、管理者モードに入つてからそれぞれの操作を行う必要があります。管理者モードでの操作の流れは、以下のとおりです。

■管理者モードに切り替える

1 [温水温度]と[便座温度]を同じタイミングで6秒以上押す



- 補足**
- すべての洗浄強さランプが点滅し、管理者モードに入ります。
 - セット完了時、本体表示部の電源ランプが1回点滅します。
 - 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません)

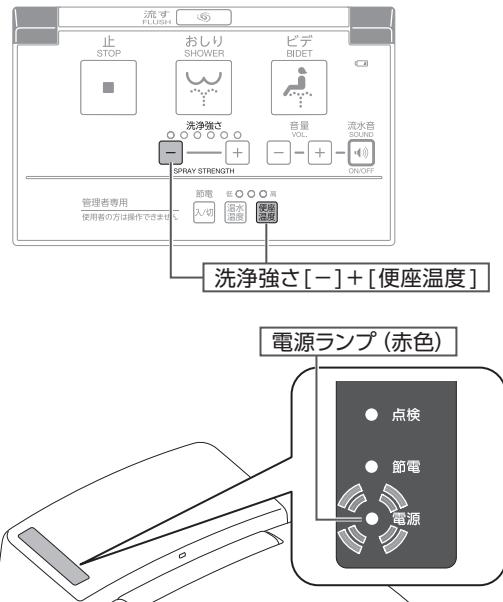
2 設定の切り替えを行う

温水温度や便座温度などを調節します。リモコンのボタンを同時に2つ、2秒以上または6秒以上押して設定を切り替える操作があります。
その場合、設定を「入」にすると本体表示部の電源ランプが1回点滅します。「切」または初期設定の状態にすると本体表示部の電源ランプが2回点滅します。

- 補足**
- 本体表示部 (☞ 11 ページ)
 - お好みの設定にする (☞ 29 ページ)

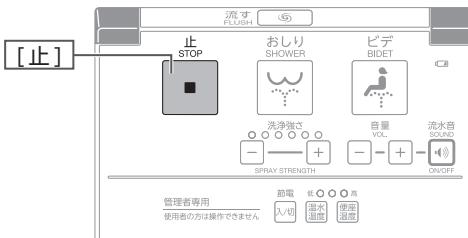
2

例：便座ヒーターオート OFF



3 管理者モードを解除する

[止]を押す



- 補足**
- すべての洗浄強さランプが点滅し、管理者モードを解除します。
 - 管理者モード解除時、本体表示部の電源ランプが2回点滅します。
 - 管理者モードが終わり、通常の使用状態に戻ります。
 - 管理者モード中に[止]を押したり、1分間何もしなかった場合も、通常の使用状態に戻ります。

流水音を再生する

擬音装置について

流水音を再生し、音消し目的の無駄な洗浄を防止します。

オート擬音「入」時は、便座に座ると流水音が自動的に再生され、便座から立ち上がると停止します。

自動で流水音を再生する（オート擬音）

便座に座ると、自動で流水音を再生します。

■設定を切り替える

初期設定 入

管理者モードに切り替えます。（☞ 19 ページ）

[流水音] を押すたびに「入」「切」が切り替わります。

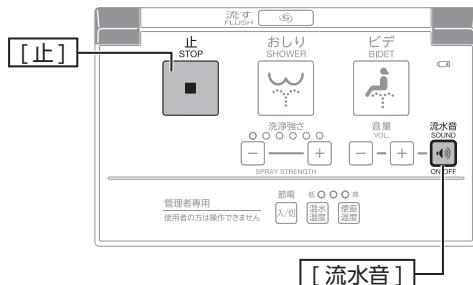
- 補足**
- 10 分後に自動停止する「セルフストップ機構付」です。
 - 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。（☞ 19 ページ）

リモコンで流水音を再生する（擬音装置）

オート擬音「切」時、[流水音] を押すと流水音を再生します。

[流水音] または [止] を押すと流水音が停止します。

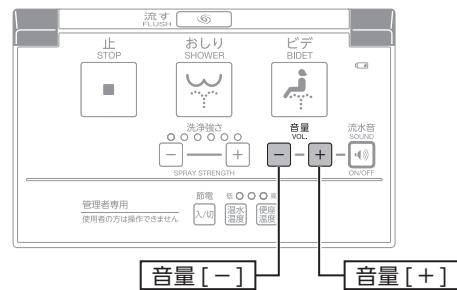
- 補足**
- 便座から立ち上がると 6 秒後に自動で停止します。



■流水音再生中に音量を変更する

初期設定 4

流水音再生中に音量を 6 段階に切り替えることができます。[+] を押すと音量が大きくなります。[-] を押すと音量が小さくなります。



■流水音量の設定を切り替える

初期設定 4

「擬音装置」の開始音量を 6 段階に切り替えることができます。

管理者モードに切り替えます。（☞ 19 ページ）
[+] を押すと開始音量が大きくなります。[-] を押すと開始音量が小さくなります。

- 補足**
- 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。（☞ 19 ページ）

便座の温度を変える

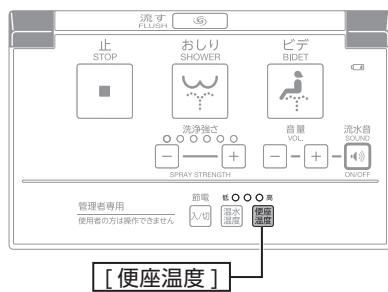
便座の温度を調節する

便座の温度を「切(室温)」、「低(約 28°C)」～「高(約 36°C)」の4段階に切り替えることができます。

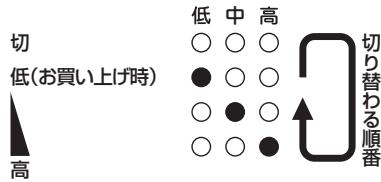
■設定を切り替える

初期設定 低

管理者モードに切り替えます。(☞19 ページ)
[便座温度] を押すたびに、「低(約 28°C)」→「切(室温)」→「高(約 36°C)」→「中(約 32°C)」の順に切り替わります。



温度設定 温度ランプの表示(○:消灯、●:点灯)



補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19 ページ)

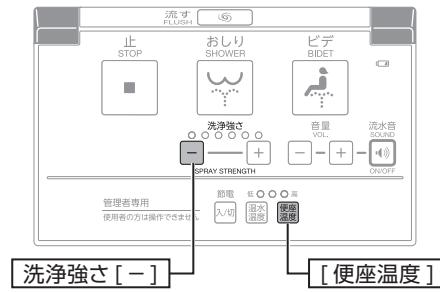
便座ヒーターを自動で「切」にする (便座ヒーターオート OFF)

「入」に設定すると、便座に座ったときに低温やけどのを自動で防止します。

■設定を切り替える

初期設定 切

管理者モードに切り替えます。(☞19 ページ)
洗浄強さ [-] と [便座温度] を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19 ページ)

お尻を洗う

シャワーについて

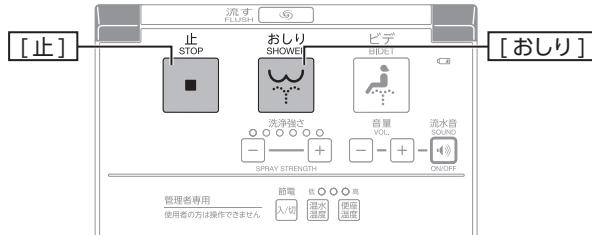
シャワーでお尻の汚れを洗い流します。「お尻洗浄」「ビデ洗浄」の2種類があります。

- △ 注意
- ・10秒～20秒を目安に使用する
 - ・便意を促すために使用しない
 - ・洗浄中、故意に排便しない
 - ・局部に痛みや炎症があるときは使用しない
 - ・局部の治療、医療行為を受けているときは、医師の指示に従う

- ◆ 補足
- ・便座に深く腰掛けて使用すると飛び散りが少なくなります。
 - ・便器洗浄中は、シャワーが使用できません。(フルオート便器洗浄付きの場合)
 - ・給水圧力が低い場合は、シャワーが弱くなることがあります。
 - ・お尻洗浄の前と後に自動でノズルを洗う「ノズルオートクリーニング機能」が付いています。
 - ・2分後に自動的に停止する「セルフストップ機構付」です。

お尻洗浄

「お尻洗浄」は、排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。[お尻]を押すと洗浄が始まります。[止]を押すと洗浄が止まります。



→洗浄強さをさらに強くする

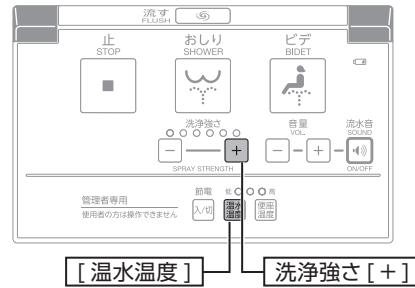
強(6段階目の6番目)を、さらに強い水勢に切り替えます。

- ◆ 補足
- ・洗浄強さの感じ方には個人差があります。給水温度がきわめて低い冬期は、シャワーの温度は早めに低くなります。
 - ・「洗浄強さ6」以外の洗浄強さは変わりません。

■ 設定を切り替える

初期設定 切

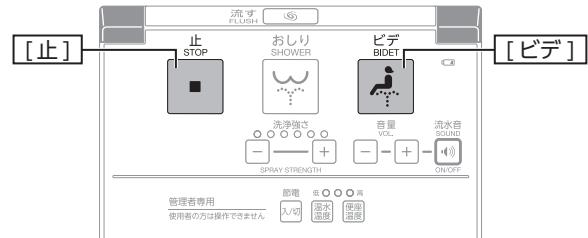
管理者モードに切り替えます。(☞19ページ)
洗浄強さ[+]と[温水温度]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、さらに強くした洗浄強さと元の設定が切り替わります。



- ◆ 補足
- ・設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19ページ)

ビデ洗浄

「ビデ洗浄」は、生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。[ビデ]を押すと洗浄が始まります。[止]を押すと洗浄が止まります。



おしりを洗う

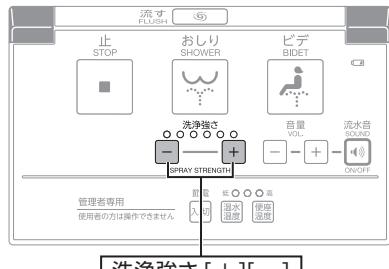
シャワーの調節・設定について

「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の、洗浄強さやシャワーの温度を設定できます。

シャワーの洗浄強さを調節する

初期設定 洗浄強さ 3

洗浄強さを 6 段階に調節できます。[+] を押すと強くなります。[-] を押すと弱くなります。



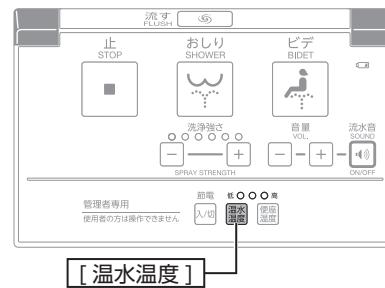
シャワーの温水温度を調節する

シャワーの温度を「切(水温)」、「低(約 32°C)」～「高(約 40°C)」の 4 段階に切り替えることができます。

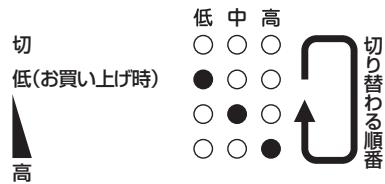
設定を切り替える

初期設定 低

管理者モードに切り替えます。(☞ 19 ページ)
[温水温度] を押すたびに、「低(約 32°C)」→「切(水温)」→「高(約 40°C)」→「中(約 36°C)」の順に切り替わります。



温度設定 温度ランプの表示(○:消灯、●:点灯)



補足 | • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞ 19 ページ)

水を流す

洗浄について

自動で洗浄、リモコンで洗浄、本体の洗浄ボタンで洗浄する3種類があります。

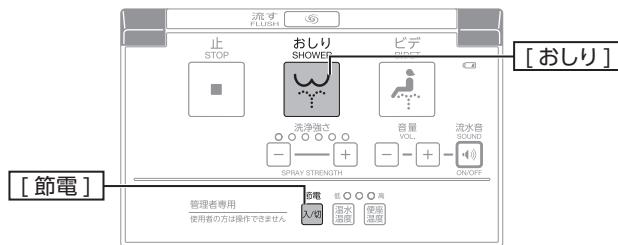
自動で水を流す(フルオート便器洗浄)

便座から立ち上がると、自動で水が流れます。

■設定を切り替える

初期設定 入(10秒)

管理者モードに切り替えます。(☞19ページ)
[おしり]と[節電]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19ページ)

大洗浄と小洗浄の区別

洗浄の種類	洗浄の条件	洗浄のタイミング
大洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・50秒以上便座に座る ・50秒未満便座に座り、「おしり洗浄」を使用した場合 	立ち上がってから10秒後 (初期設定)
小洗浄	・10秒以上、50秒未満便座に座る	

■洗浄までのタイミングを切り替える

初期設定 10秒

便座から立ち上がってから、水を流すまでの時間を4段階に切り替えることができます。

管理者モードに切り替えます。(☞19ページ)

洗浄強さ[-]と[節電]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、水を流すまでの時間が「10秒」、「15秒」、「2秒」、「6秒」の順に切り替わります。

補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19ページ)

時間の切り替わりと

本体表示部の電源ランプの点滅回数

→10秒 →15秒 →2秒 →6秒
2回点滅 1回点滅 1回点滅 1回点滅

■大小洗浄または大洗浄のみに切り替える

初期設定 大小洗浄

「大小洗浄」と「大洗浄」を切り替えることができます。

管理者モードに切り替えます。(☞19ページ)

洗浄強さ[+]と[節電]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「大小洗浄」と「大洗浄」が切り替わります。

補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19ページ)

水を流す

■大小洗浄の判定時間を切り替える

初期設定 50秒

大小洗浄は、便座に座ってから約50秒以上を大洗浄、約50秒未満を小洗浄と判定します。この判定時間を、約120秒、または約150秒に切り替えることができます。

管理者モードに切り替えます。(☞19ページ)

洗浄強さ [-] と [温水温度] を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、判定時間が、「50秒」→「120秒」→「150秒」の順に切り替わります。

補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19ページ)

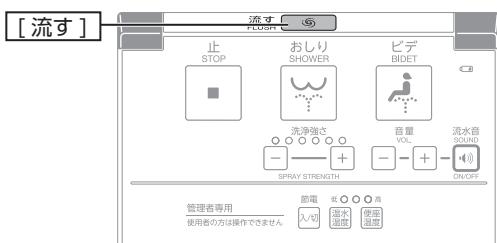
時間の切り替わりと
本体表示部の電源ランプの点滅回数

初期設定

→ 50秒 → 120秒 → 150秒
2回点滅 1回点滅 1回点滅

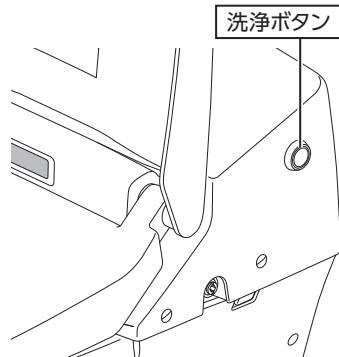
リモコンで水を流す

壁リモコンの [流す] を押すと、水が流れます。



洗浄ボタンで水を流す

本体の洗浄ボタンで水を流すことができます。



流す水の量を増やす

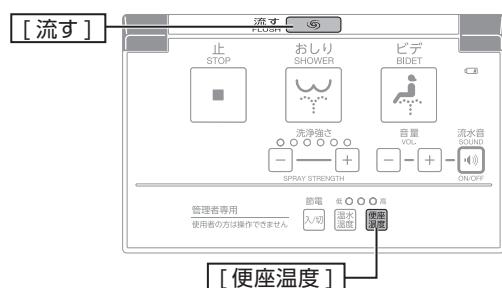
便器洗浄の水量を最大水量の大洗浄8L・小洗浄6Lに増やします。

補足 • 増やした水の量を元に戻したい場合は、有料となります。LIXIL修理受付センターまでご相談ください。

設定を切り替える

初期設定 大洗浄5L／小洗浄3.8L

管理者モードに切り替えます。(☞19ページ)
[流す]と[便座温度]を同じタイミングで2秒以上押してください。



補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。(☞19ページ)

脱臭する

脱臭について

便座に座ると自動的に脱臭を開始します。着座中は「パワー脱臭」、立ち上がるときより強力な「フルパワー脱臭」へ自動で切り替わりにおいを吸引します。

自動で脱臭する（W パワー脱臭）

状況に合わせた強さで脱臭します。

脱臭モード切り替わり

状況	脱臭モード
座っている	パワーモード（通常脱臭）
立ち上がる	フルパワーモード（強力脱臭）
立ち上がってから1分後	自动停止

■ 設定を切り替える

初期設定 入

管理者モードに切り替えます。（☞ 19 ページ）洗浄強さ [+] と [便座温度] を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。（☞ 19 ページ）

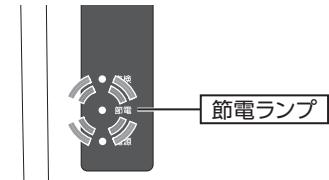
節電する

節電について

節電機能には、「ステップ節電（常時）」と「ワンタッチ節電（8時間）」の2種類があります。

補足 • 節電機能を使用しない場合でも、トイレを使用していないときに便フタを閉じておくと節電に効果的です。

「節電ランプ」で、節電機能の状態が確認できます。



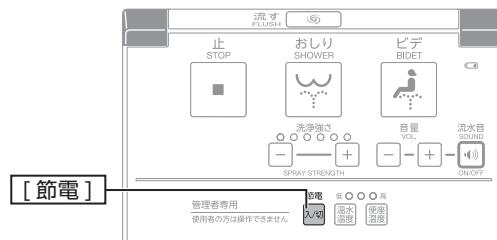
節電機能時の節電ランプ状態

節電機能	節電中	待機中
切	消灯	消灯
ワンタッチ	点滅	—
ステップ	点灯	—

■ 設定を切り替える

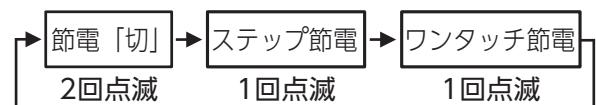
初期設定 切

管理者モードに切り替えます。（☞ 19 ページ）[節電] を押すたびに、「切」、「ステップ節電」、「ワンタッチ節電」の順に切り替わります。



設定の切り替わりと

本体表示部の電源ランプの点滅回数



補足 • 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。（☞ 19 ページ）

節電する

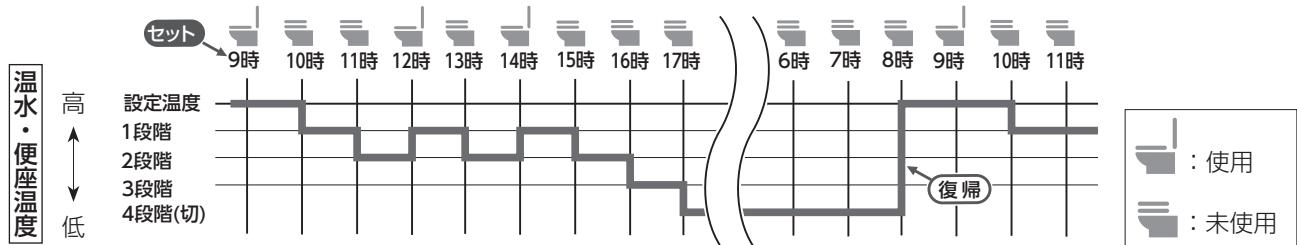
ステップ節電(常時)を設定する

トイレを使用しない状態が1時間続いたとき、温水と便座の温度を1段階下げ、さらに未使用が1時間続くごとに1段階下げます。下げる段階は全部で4段階あり、4段階目はヒーターを「切」にします。

	温水温度			便座温度			
	初期設定	高	中	低	高	中	低
設定温度(℃)	40	36	32	32	36	34	28
1段階目	36	36	32	32	34	34	28
2段階目	34	34	32	32	32	32	28
3段階目	32	32	32	28	28	28	28
4段階目	切	切	切	切	切	切	切

ステップ節電設定時の便座・温水温度

ステップ節電例：9時に設定した場合



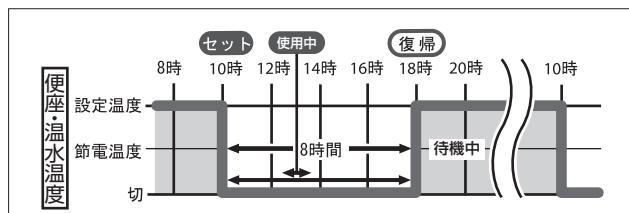
- 補足
- 停電時や電源プラグを抜いた場合は、「ステップ節電」の設定がリセットされます。
 - 節電中にトイレを使用すると1回につき1段階、温水と便座の温度を上げます。
 - 「ステップ節電」は、一度セットすると解除するまで節電をつづけますが、セットした時間の1時間前になると、いったん温水と便座を設定温度まで復帰させます。朝など、日頃習慣的に使用する時間にセットすると便利です。

ワンタッチ節電(8時間)を設定する

「ワンタッチ節電」を設定すると、便座と温水のヒーターを8時間「切」にして消費電力を抑えます。毎日同じ時間に節電が作動します。

- 補足
- 停電時や電源プラグを抜いた場合は、「ワンタッチ節電」の設定がリセットされます。
 - ワンタッチ節電中は使用しても温度は「切」のままです。

ワンタッチ節電例：10時から18時まで設定した場合



電源の入 / 切を切り替える

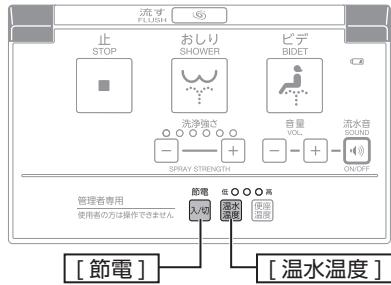
電源の入 / 切を切り替える

長期間使用しないときなど、本体の電源を「切」にできます。

■設定を切り替える

初期設定 入

管理者モードに切り替えます。（☞ 19 ページ）
[節電] と [温水温度] を同じタイミングで 6 秒以上押してください。
同じ操作をするたびに、電源の「入」「切」が切り替わります。



- ◆ 補足
- 電源を「切」にすると、本体表示部の電源ランプが消灯します。
 - 電源を「入」にすると、本体表示部の電源ランプが点灯します。
 - 設定切り替え後は管理者モードを解除してください。（☞ 19 ページ）

お好みの設定にする

お好みの設定について

初期設定を変更することで、お好みのトイレに設定できます。

設定項目一覧

設定を変更する前に、管理者モードに切り替えます。（☞ 19 ページ）

- 補足
- ・設定切り替え後は管理者モードを解除してください。（☞ 19 ページ）
 - ・電源プラグを抜いたり、電源を「切」にしたりしても変更した設定は記憶されています。
 - ・「ステップ節電」「ワンタッチ節電」は、電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 26 ページ）

機能		操作ボタン	初期設定
便器洗浄	フルオート便器洗浄 入 / 切 (☞ 24 ページ)	フルオート便器洗浄を「切」にします。	[おしり]+[節電] (同時に2秒以上押す) 入
	フルオート便器洗浄開始時間 (☞ 24 ページ)	立ち上がってから洗浄するまでの時間を10秒（初期設定）→15秒→2秒→6秒と切り替えます。	洗浄強さ [-] + [節電] (同時に2秒以上押す) 10秒
	大小洗浄または大洗浄に切り替える (☞ 24 ページ)	「大小洗浄」と「大洗浄」を切り替えることができます。	洗浄強さ [+] + [節電] (同時に2秒以上押す) 大小洗浄
	大小洗浄の判定時間を切り替える (☞ 25 ページ)	大小洗浄の判定時間を50秒（初期設定）→120秒→150秒と切り替えます。	洗浄強さ [-] + [温水温度] (同時に2秒以上押す) 50秒
	洗浄水量を増やす (☞ 25 ページ)	便器洗浄の水量を最大水量の大洗浄8L・小洗浄6Lに増やします。	[流す]+[便座温度] (同時に2秒以上押す) 大洗浄5L／小洗浄3.8L
	間欠流动方式の凍結防止 入 / 切 (☞ 48 ページ)	使用していない間、6分間隔で便器から水を排出し凍結を防ぎます。	[節電]+[流す] (同時に2秒以上押す) 切
便座温度	便座ヒーターオートOFF 入 / 切 (☞ 21 ページ)	便座に座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドを起こしにくくします。	洗浄強さ [-] + [便座温度] (同時に2秒以上押す) 切
おしり洗浄	さらに強い水勢に切り替える (☞ 22 ページ)	強（6段階目の6番目）を、さらに強い水勢に切り替えます。	洗浄強さ [+] + [温水温度] (同時に2秒以上押す) 切
脱臭	脱臭 入 / 切 (☞ 26 ページ)	自動脱臭を「切」にします。	洗浄強さ [+] + [便座温度] (同時に2秒以上押す) 入
その他	電源 入 / 切 (☞ 28 ページ)	本体の電源を「切」にします。	[節電]+[温水温度] (同時に6秒以上押す) 入
	設定初期化	お買い上げ時の設定に戻すことができます。	[おしり]+洗浄強さ [+] +洗浄強さ [-] (同時に2秒以上押す) —

お手入れガイド

ふだんのお掃除・お手入れ

部位別にお掃除・お手入れの頻度の目安を示しています。お掃除・お手入れ方法の詳細は参照先をご覗ください。

お掃除場所と汚れの種類	お掃除道具	お手入れの頻度	参照ページ
トイレのプラスチック部分 (便座、便フタ、カバー類、 リモコン) ほこり、手アカ、小水のしみ	柔らかい布	毎日	32
便器 カビ、バクテリアの発生、尿石	トイレ用ブラシ スポンジ	毎日	33
本体と便器のすきま ほこり、手アカ、小水のしみ	柔らかい布	月に1回	34
ノズル カビ、水アカ、小水のしみ	スポンジ	月に1回	35
ノズルシャッター 水アカ、小水のしみ	柔らかい布	基本的なお手入れ 毎日 取り外してお手入れ 月に1回	39
脱臭カートリッジ ほこり	歯ブラシ	月に1回	41
ストレーナー 水アカ、異物	—	2年に1回	44

お手入れの準備をする

掃除道具

種類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオルやTシャツを適當なサイズに切って使用してください。	便座・便フタ・カバー類・便器部
スponジ	小さくて、できるだけ柔らかなものを使用してください。	ノズル先端・便器部
トイレ用ブラシ	研磨材付きや金属製のブラシは、陶器表面にキズを付けるおそれがあるので使用しないでください。	便器部
ゴム手袋	手荒れ防止のために使用してください。	—
歯ブラシ	使い古したものを使用してください。	脱臭カートリッジ

LIXILのお掃除グッズ(☞72ページ)

種類		使う場所
トイレ用おそうじティッシュ	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後は、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー	プラスチックを傷めないスプレー式。シャットかけて拭き取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使用できます。	便座・便フタ・カバー類・便器部
お掃除ブラシ	便器の表面に傷を付けません。便鉢の裏側まできれいにできます。	便器部

洗剤

便器部に使う洗剤

△ 注意

- 便器には次の洗剤や道具を使用しない
 - ・強いアルカリ性の洗剤または漂白剤
 - ・研磨剤入りの洗剤
 - ・フッ素系洗剤(フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む)
 - ・撥水作用や表面コート作用がある洗剤やお掃除道具
 - ・金属製や研磨剤入りのブラシのように表面を傷つけるお掃除道具

種類		使う場所
トイレ用中性洗剤	便器(陶器部)の黄ばみや黒ずみを落とします。スタンプ式洗剤を使用している場合、貼り位置によっては洗浄不良や飛び上がりが発生するおそれがあります。	便器部
研磨剤なしの洗剤		

プラスチック部に使う洗剤

△ 注意

- 便座に使用できる洗剤を使用する
 - 次の洗剤を使用しない
 - ・トイレ用洗剤
 - ・住宅用洗剤
 - ・漂白剤
 - ・ベンジン
 - ・シンナー
 - ・クレンザー
 - ・クレゾール
- (故障、けが、感電、火災のおそれ)

プラスチック部分のお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安 毎日

便座、便フタ、カバー類、リモコンを掃除します。汚れは放っておくと落ちにくくなります。固くしぼった柔らかい布でこまめに水拭きしてください。



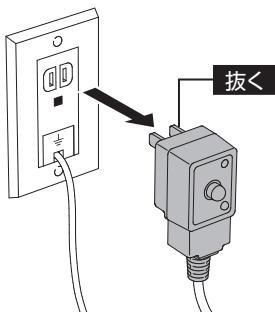
- 補足**
- リモコンを掃除する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(☞72ページ)

便フタを外して掃除する

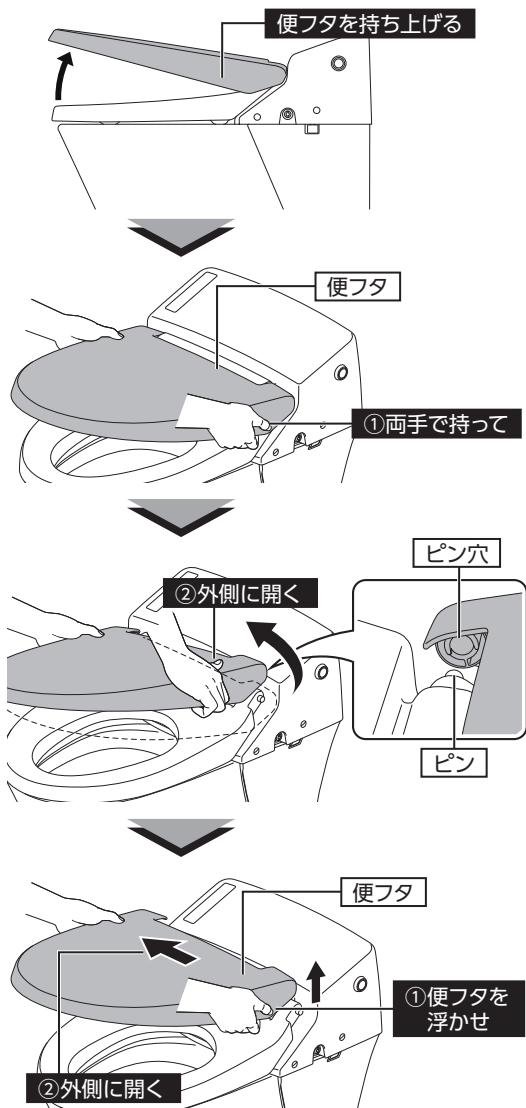
お手入れの目安 月に1回

便フタは簡単に外せます。トイレ本体や便フタのすきま、ヒンジ部を掃除できます。

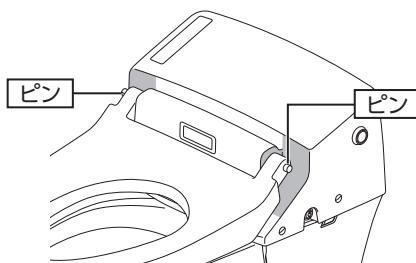
1 電源プラグをコンセントから抜く



2 便フタを外す



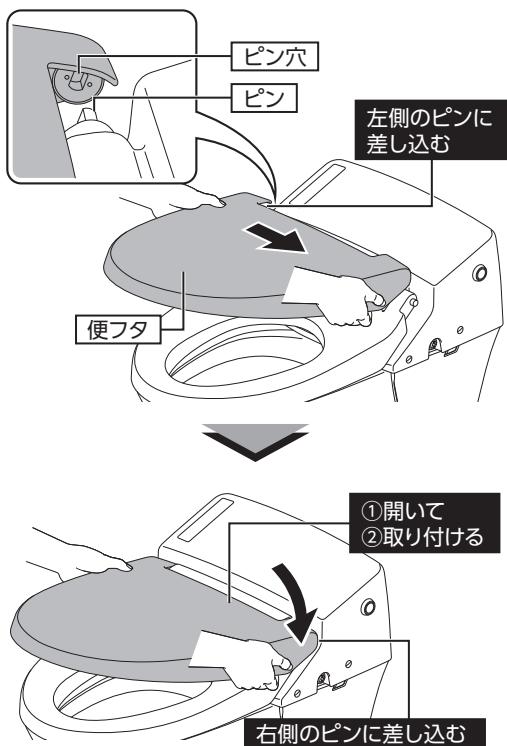
3 ピンと、その周辺を柔らかい布で水拭きする



- 補足**
- 便フタが汚れている場合は、丸洗いすることができます。

プラスチック部分の お手入れ

4 便フタを取り付ける



5 電源プラグをコンセントに差し込む

△ 注意

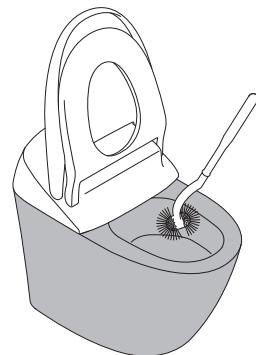
- ・便フタを外したまま便座を開かない
- ・便フタを外したまま使用しない
(破損のおそれ・キズの原因)

便器のお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安 毎日

柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗います。



筆 補足

・お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(☞72ページ)

本体と便器のすきまのお手入れ

本体を浮かせて掃除する (お掃除リフトアップ)

お手入れの目安 月に1回

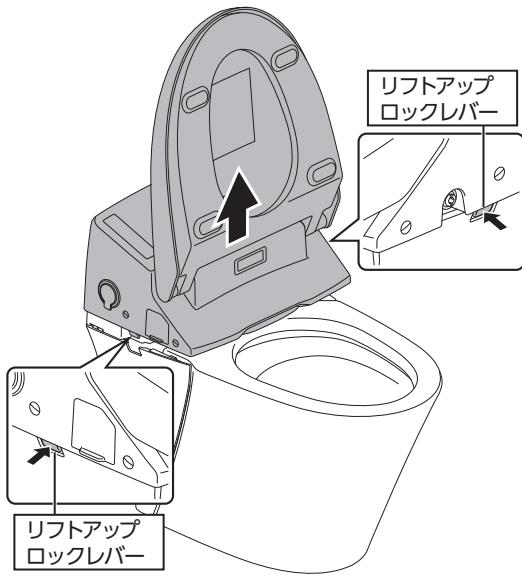
真上にしっかりと上がり、お掃除できなかった便器とのすき間をラクラクお掃除できます。



この掃除ができます。

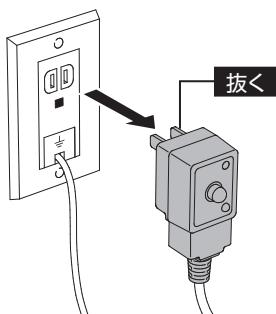
- 補足
- 機種によっては、機能がついていない場合があります。(☞ 15 ページ)
 - お掃除アイテムは、当社純正品をおおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(☞ 72 ページ)

3 本体両側のリフトアップロックレバーを押しながら、静かに持ち上げる



- 補足
- 本体が水平に安定することを確認してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く



2 便フタと便座を開く

4 すきまを、柔らかい布で水ぶきする

本体と便器のすきまの お手入れ

- 5** 本体を上から軽く押さえ、「カチッ」と音がするまで押し下げる



- 6** 便フタと便座をゆっくり閉じる

- 7** 電源プラグをコンセントに差し込む

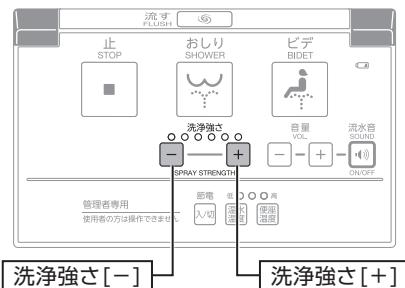
ノズルのお手入れ

基本的なお手入れ

便座に座っているときに、お好みのタイミングでノズルを洗うことができます。

洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押してください。

ノズルが本体に収納されたまま、自動洗浄します。



◆ 補足 • 「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する「オートクリーニング機能」が付いています。

ノズルを掃除する

お手入れの目安 月に 1 回

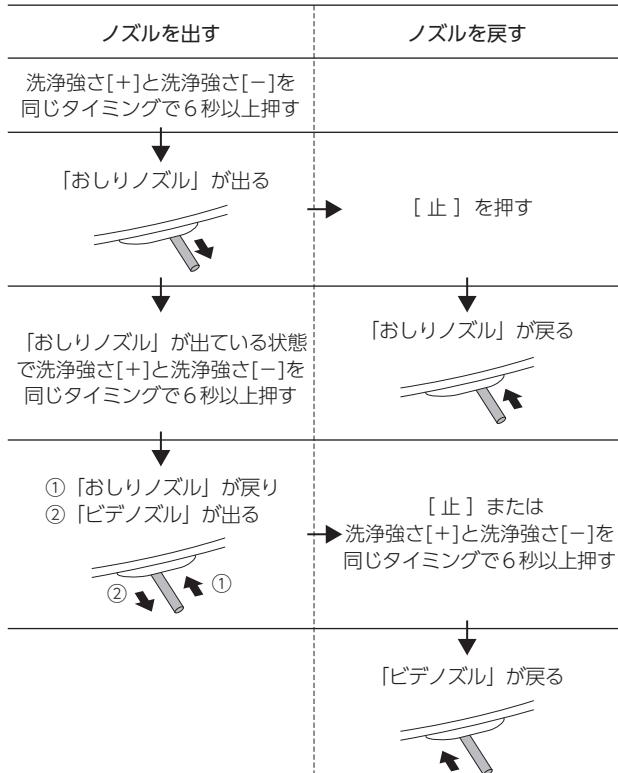
「おしりノズル」、「ビデノズル」を順に掃除します。

△ 注意 • 歯ブラシでこすらない
(キズの原因)
• 「おしりノズル」「ビデノズル」を無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりなどの強い力をかけない
(故障、動作不良の原因)

◆ 補足 • 「止」を押すとノズルを戻せます。
• 「おしりノズル」「ビデノズル」の先端は交換できます。(☞ 37 ページ)

ノズルのお手入れ

「おしりノズル」、「ビデノズル」の出し方と戻し方



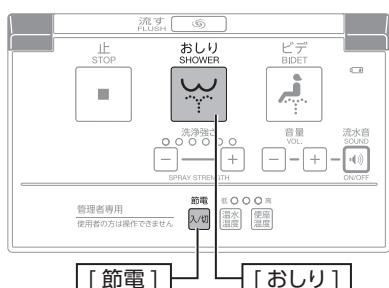
補足 | • ノズルは約 5 分たつと自動で戻ります。

1 管理者モードに切り替える

補足 | • 管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

2 「自動洗浄」を「切」にする

「おしり」と「節電」を同じタイミングで 2 秒以上押してください。

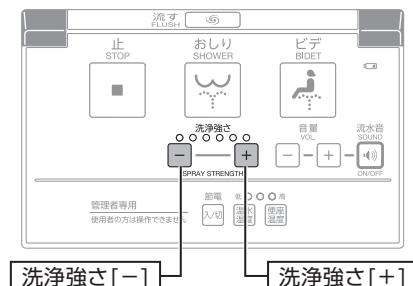


補足 | • 設定の切り替え (☞ 19 ページ)

3 便フタと便座を開く

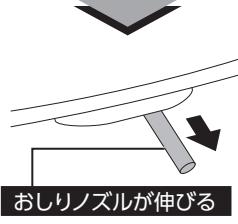
4 「おしりノズル」を洗う

洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押してください。

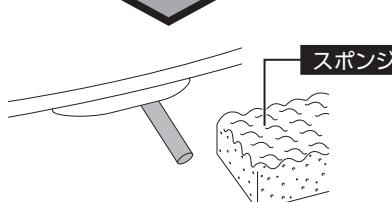


洗浄強さ [-] 洗浄強さ [+]

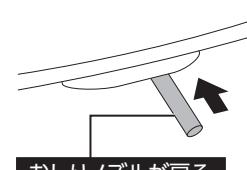
↓



↓



5 「おしりノズル」が戻る

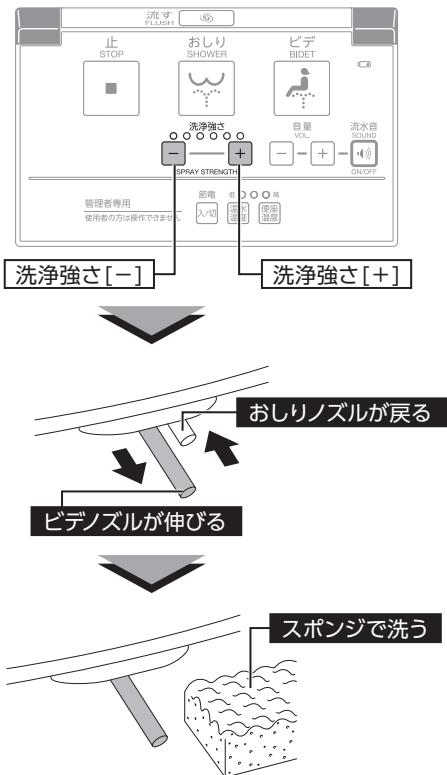


補足 | • 洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押すと、「おしりノズル」が戻り「ビデノズル」が伸びます。
• 「おしりノズル」は約 5 分たつと自動で戻ります。

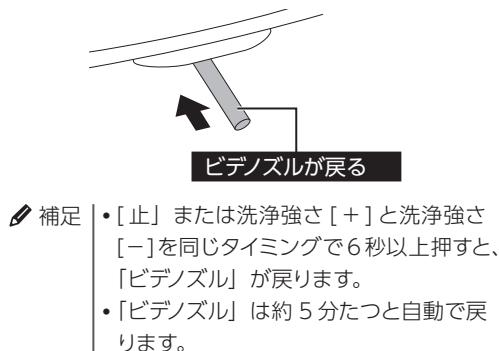
ノズルのお手入れ

6 「ビデノズル」を洗う

洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押してください。



7 「ビデノズル」が戻る



- 補足 • 「止」または洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押すと、「ビデノズル」が戻ります。
- 「ビデノズル」は約 5 分たつと自動で戻ります。

8 「自動洗浄」を「入」にする

- 補足 • 自動洗浄の設定方法 (☞ 24 ページ)

9 管理者モードを解除する

- 補足 • 管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

ノズル先端を交換する

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換できます。

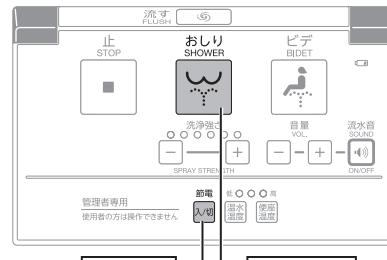
- 補足 • お求めは、別売品の購入方法をご参照ください。 (☞ 72 ページ)

1 管理者モードに切り替える

- 補足 • 管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

2 「自動洗浄」を「切」にする

[おしり] と [節電] を同じタイミングで 2 秒以上押してください。



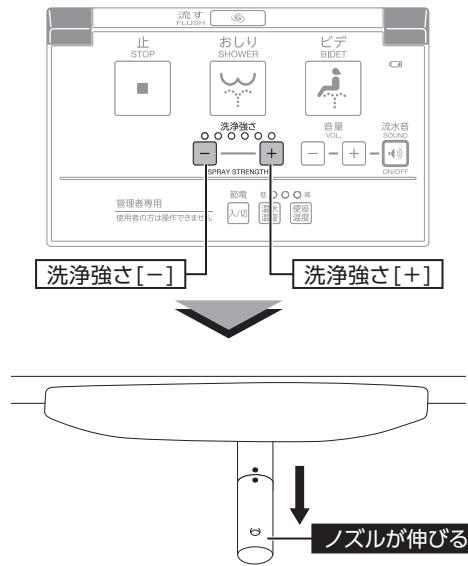
- 補足 • 設定の切り替え (☞ 19 ページ)

3 便フタと便座を開く

ノズルのお手入れ

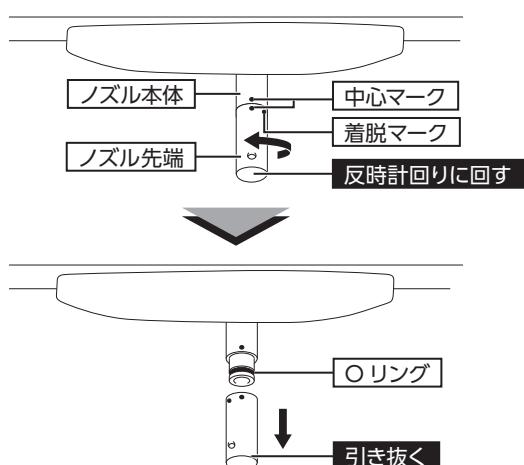
4 ノズルを出す

洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押してください。



補足 •「ノズルを掃除する」と同じ手順でノズルが出ます。(☞ 36 ページ)

5 ノズル先端を取り外す

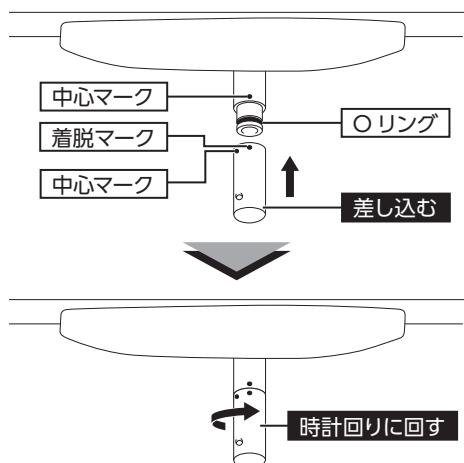


△ 注意 •○リングを傷つけない
(漏水の原因)

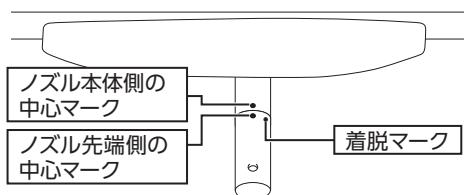
補足 •ノズルを少し引き出すようにして、ノズル奥側を手でおさえてください。

6 ノズル先端を取り付ける

補足 •ノズル先端を取り付ける前にノズルが戻ってしまった場合は、手順 4 に従いノズルを出してください。

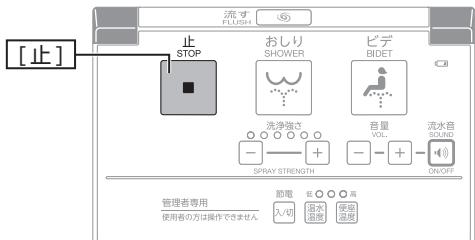


7 結合部を確認する



ノズルのお手入れ

8 ノズルを戻す



- △ 注意
- ・ノズルに強い力をかけない
 - ・ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしない
(破損のおそれ・故障の原因)
 - ・歯ブラシでこすらない
(キズの原因)
- ◆ 補足
- ・誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び電源プラグを差し込んでください。

9 「自動洗浄」を「入」にする

- ◆ 補足
- ・自動洗浄の設定方法 (☞ 24 ページ)

10 管理者モードを解除する

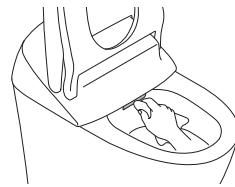
- ◆ 補足
- ・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

ノズルシャッターのお手入れ

基本的なお手入れ

お手入れの目安 毎日

柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で拭いてください。



ノズルシャッターを取り外して掃除する

お手入れの目安 月に1回

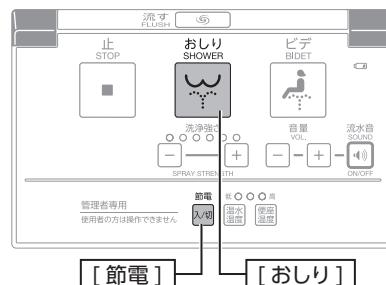
- ◆ 補足
- ・「ノズルシャッター」は交換できます。
(☞ 72 ページ)

1 管理者モードに切り替える

- ◆ 補足
- ・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

2 「自動洗浄」を「切」にする

[おしり]と[節電]を同じタイミングで2秒以上押してください。



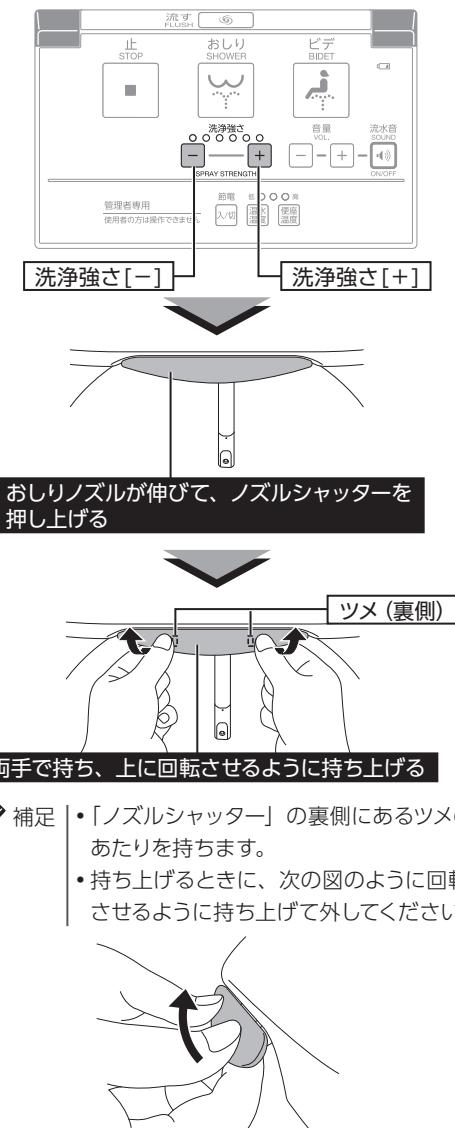
- ◆ 補足
- ・設定の切り替え (☞ 19 ページ)

3 便フタと便座を開く

ノズルシャッターのお手入れ

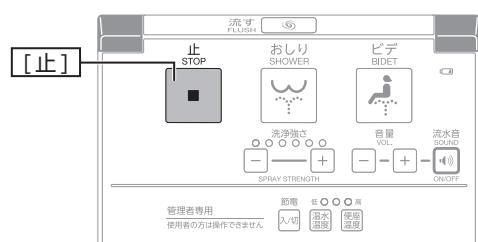
4 「ノズルシャッター」を取り外す

洗浄強さ [+] と洗浄強さ [-] を同じタイミングで 6 秒以上押してください。



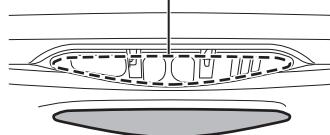
5 「ノズルシャッター」を柔らかい布で水拭きする

6 「おしりノズル」を戻す

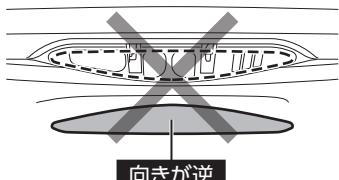


7 「ノズルシャッター」を取り付ける

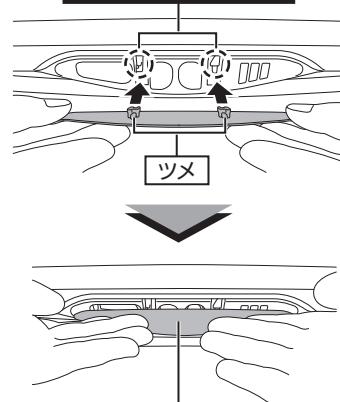
ノズルシャッターの向きを本体に合わせる



補足 •「ノズルシャッター」の向きが逆になると正しく取り付けることができません。



ツメの位置を合わせる



「カチッ」と音がするまで押し込む

△ 注意 •「ノズルシャッター」に強い力をかけない
(破損のおそれ)

8 「自動洗浄」を「入」にする

補足 •自動洗浄の設定方法 (☞ 24 ページ)

9 管理者モードを解除する

補足 •管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

脱臭カートリッジのお手入れ

基本的なお手入れ

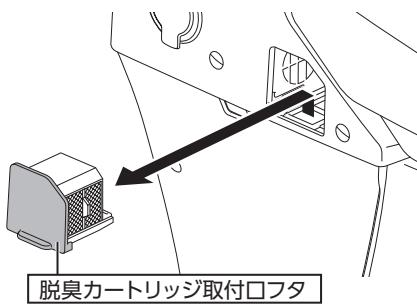
お手入れの目安 月に1回

「脱臭カートリッジ」にホコリや汚れが付着すると、十分な脱臭ができなくなります。

- ◆ 補足
 - ・「脱臭カートリッジ」は交換できます。
([72 ページ](#))
 - ・「脱臭カートリッジ」の交換目安は、約7年です。
→「脱臭カートリッジ」の寿命は、4人家族(男性2人、女性2人)の平均使用時間を基本としています。

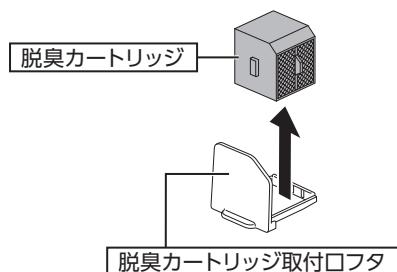
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 脱臭カートリッジ取付口フタを取り外す

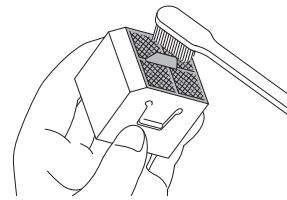


- ◆ 補足
 - ・脱臭カートリッジ取付口フタのつまみを持ち上げながら外してください。底部にツメがあります。

3 脱臭カートリッジ取付口フタから「脱臭カートリッジ」を取り出す

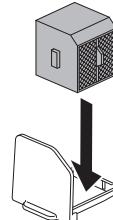


4 フィルターのホコリや汚れを取り除く



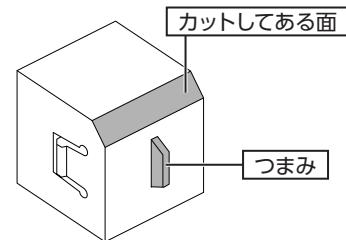
△ 注意 | •「脱臭カートリッジ」を水洗いしない

5 「脱臭カートリッジ」を脱臭カートリッジ取付口フタに取り付ける

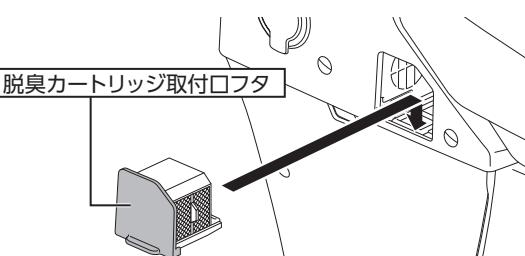


△ 注意 | •「脱臭カートリッジ」を間違った方向で取り付けない
(破損のおそれ・故障の原因)

- ◆ 補足
 - ・カットしてある面が上になり、つまみが正面になるように脱臭カートリッジ取付口フタに置いてください。



6 脱臭カートリッジ取付口フタを取り付ける



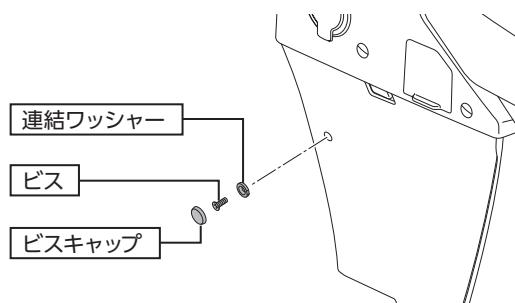
7 電源プラグをコンセントに差し込む

サイドカバーの取外し / 取付け

サイドカバーを取り外す

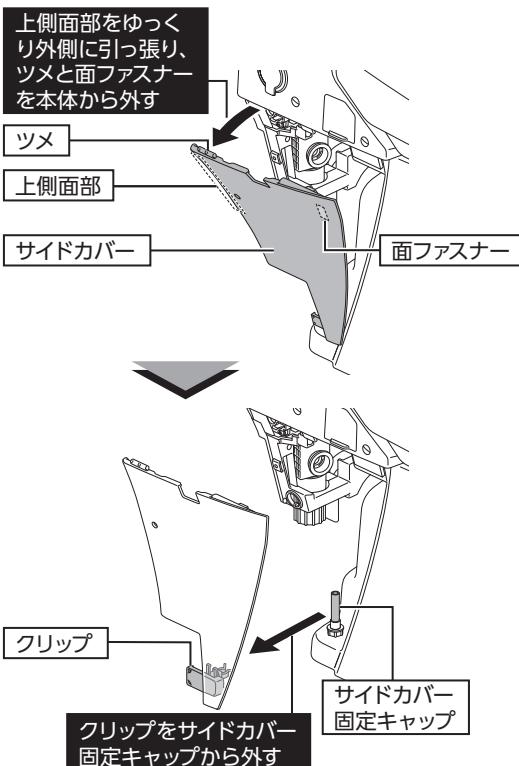
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 ビスキャップとビス、連結ワッシャーを取り外す



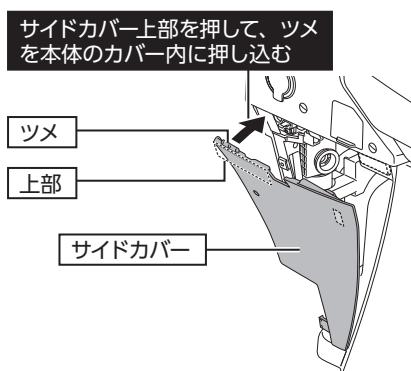
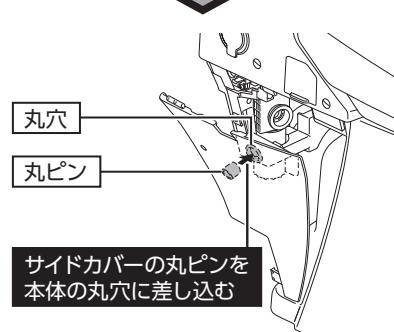
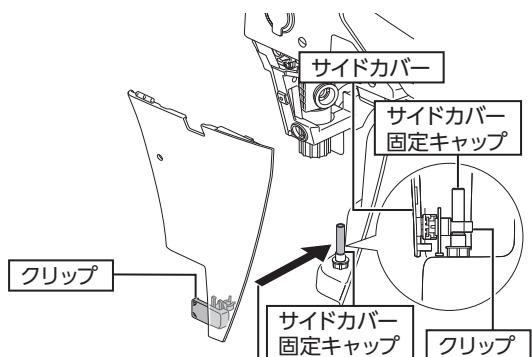
補足 | • ドライバーを使用して外してください。

3 「サイドカバー」を取り外す



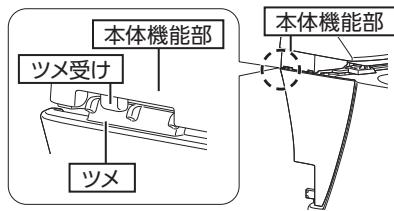
サイドカバーを取り付ける

1 「サイドカバー」を取り付ける

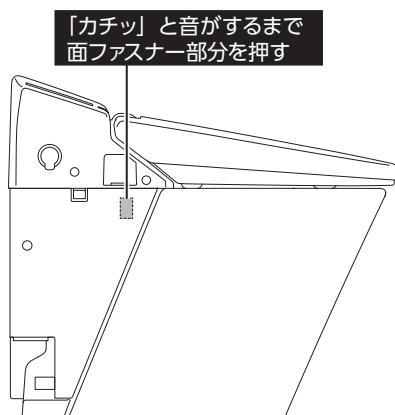


サイドカバーの取外し / 取付け

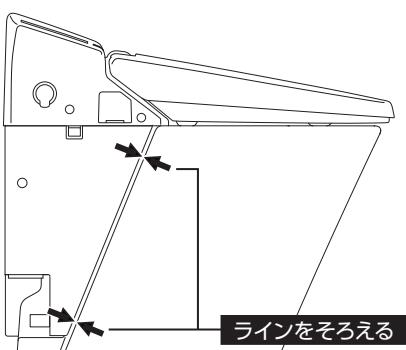
- 1**  **補足** • 「お掃除リフトアップ」付きの場合、本体を浮かせた状態で本体機能部の「ツメ受け」奥に「サイドカバー」の「ツメ」が確実に収まっていることを確認してください。



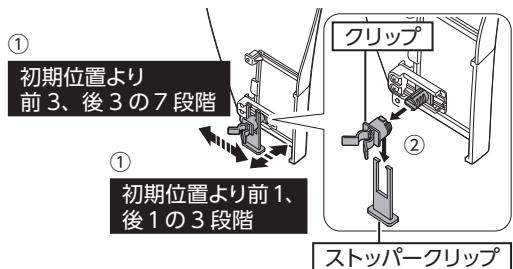
- 2** 面ファスナー部分を押す



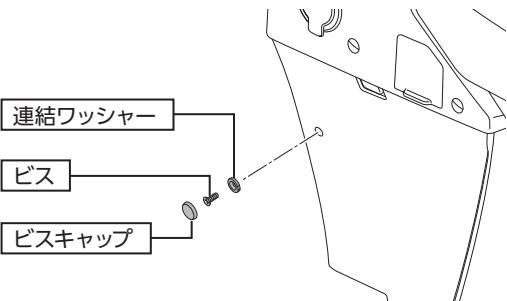
- 3** 正しく取り付いていることを確認する



- 3**  **補足** • サイドカバーが便器のラインに合っていない場合、サイドカバーのクリップ位置を調整してください。
①サイドカバーのクリップは、前後方向に7段階、左右方向に3段階、調整できます。
②調整する場合は、クリップからストップアクリップを下方向に外し、クリップの位置を移動させ、ストップアクリップをはめ込んで固定してください。



- 4** ビスキャップとビス、連結ワッシャーを取り付ける



- 5** 電源プラグをコンセントに差し込む

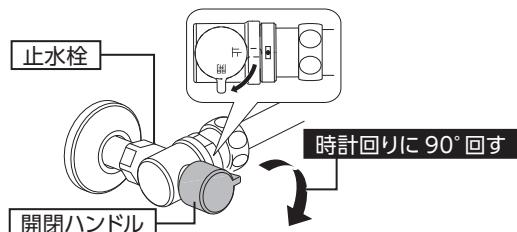
ストレーナーのお手入れ

1 ストレーナーを取り外して掃除する

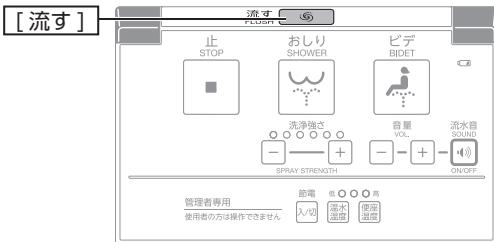
お手入れの目安 2年に1回

「ストレーナー」は水道水の異物を除去します。長期間使用して、便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなり始めたら、「ストレーナー」を掃除してください。

1 止水栓を閉める



2 便器洗浄の水が流れないと確認する

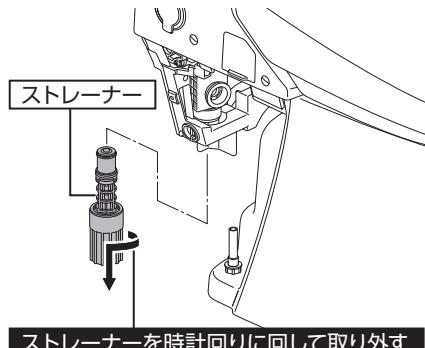


3 電源プラグをコンセントから抜く

4 サイドカバーを取り外す

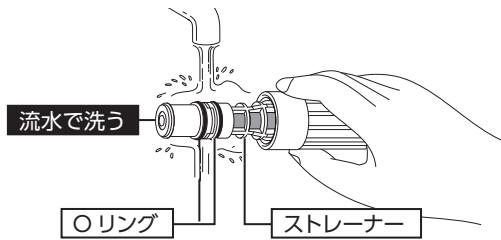
補足 • 本体向かって左側のサイドカバーを取り外してください。(☞ 42ページ)

5 「ストレーナー」を取り外す



補足 • 取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで水を受けてください。

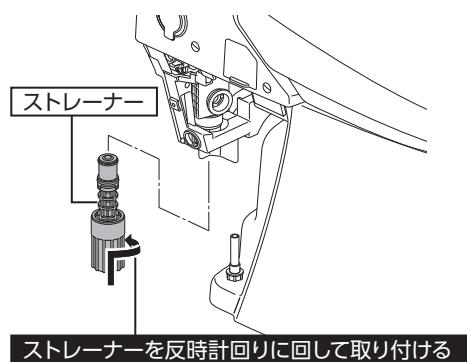
6 「ストレーナー」やOリングに付着したゴミを取り除く



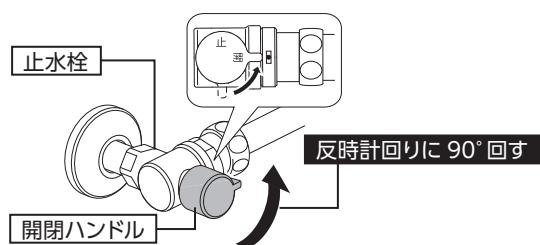
補足 • ストレーナーやOリングにキズを付けないでください。(☞ 9ページ)
• 水洗いで取れないゴミは、歯ブラシなどを使い洗い落としてください。

ストレーナーのお手入れ

7 「ストレーナー」を取り付ける



8 止水栓を開ける



9 ストレーナー部から水漏れしていないことを確認する

10 サイドカバーを取り付ける

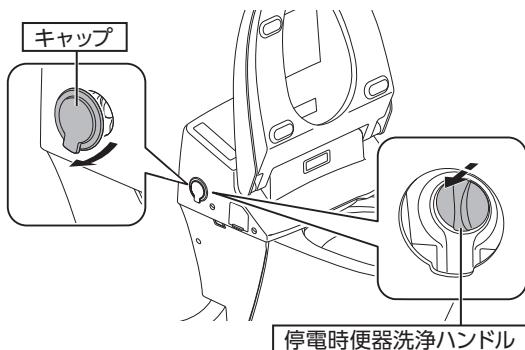
◆ 補足 | • サイドカバーの取外し / 取付け
(☞ 42 ページ)

11 電源プラグをコンセントに差し込む

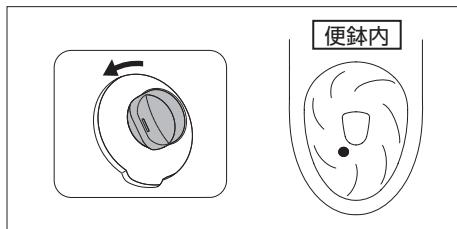
停電したとき

手動で水を流す

- 1 キャップを外し、停電時便器洗浄ハンドルを引き出す

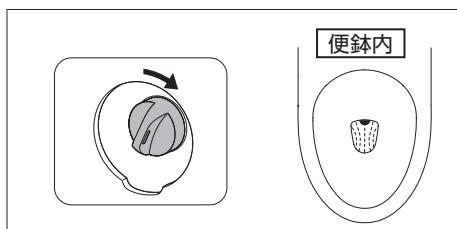


- 2 停電時便器洗浄ハンドルを奥に約40°回し、5秒程度保持する



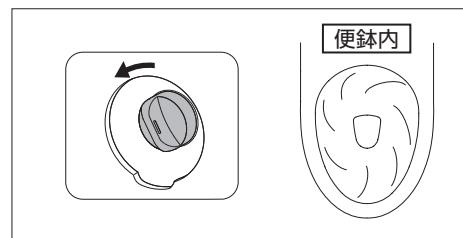
補足 • 便鉢周りから水が流れ、汚物を便鉢底へ洗い落とします。

- 3 汚物が底に落ちたら、手前に約40°回し、5秒程度保持する



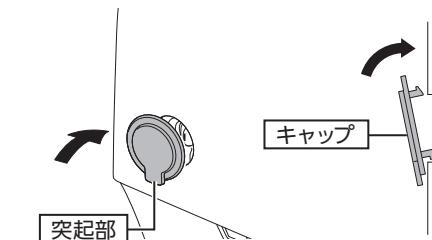
補足 • 便鉢底から水が流れ、汚物を排出します。

- 4 汚物が流れきったら、もう一度奥に約40°回し、5秒程度保持する。



補足 ① 便鉢周りから水が流れ、便鉢底に水が溜まります。
② 便鉢に水が溜まつたら手を離します。
③ 自動でハンドルが元の角度に戻り、水が止まります。

- 5 停電時便器洗浄ハンドルを元の位置に戻し、キャップを取り付ける



補足 • キャップには向きがあります。キャップの突起部を下に向け、本体のくぼみに爪をかけ、キャップの上側をはめてください。

断水したとき

バケツで水を入れて流す

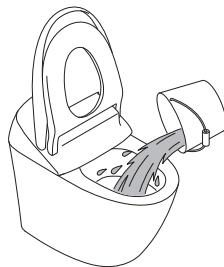
動画で確認

断水時の便器洗浄



- 補足 | • 排水管に汚物が残ることを防止するため、2~3回の使用に1度は、バケツ2杯程度の水を流してください。

1 バケツ1杯(5L~6L)の水を一気に流し込む



- △ 注意 | • コンセント部分に水をかけない
(漏電・故障のおそれ)

2 汚物が流れたことを確認する

- 補足 | • 汚物が流れないと場合は、もう一度より早く、一気に水を流し込んでください。

3 3L~4Lの水を便器内に注ぐ

4 便鉢内に水が溜まっていることを確認する

凍結しそうなとき

凍結防止について

冷え込みが厳しい場合は、トイレ本体内の水が凍結し、破損することがあります。
凍結のおそれがある場合は必ず操作を行ってください。

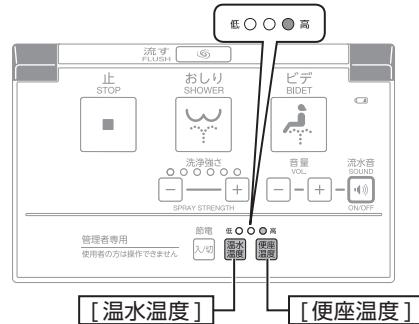
室内を暖房できる場合

■ 温度を高くしてあたためる

1 管理者モードに切り替える

- 補足 | • 管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

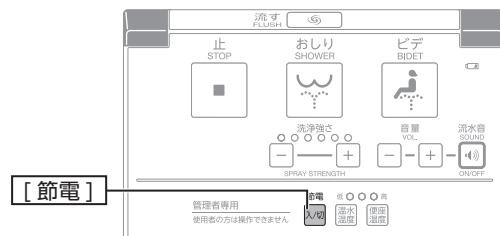
2 溫水温度・便座温度を「高」にする



- 補足 | • 便座温度の設定方法 (☞ 21 ページ)
• 溫水温度の設定方法 (☞ 23 ページ)

3 便フタを閉じる

4 節電を解除する



- 補足 | • 節電の設定方法 (☞ 26 ページ)

凍結しそうなとき

5 「節電ランプ」が消灯したことを確認する

◆ 補足 |・トイレ本体各部の名称 (☞ 11 ページ)

6 室内をあたためる

7 管理者モードを解除する

◆ 補足 |・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

室内を暖房できない場合

■自動で水を流す(間欠流動方式)

使用していない間、6 分間隔で便器より水を排出し、凍結を防ぎます。

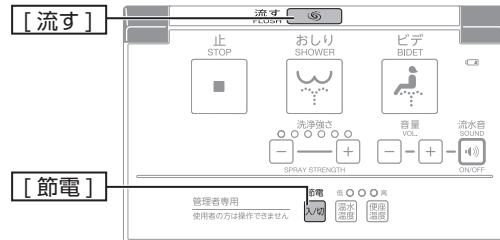
「温度を高くしてあたためる (☞ 47 ページ)」の手順 1～5 をしたあとに、次の手順を行ってください。

△ 注意 |・給水ホースに熱湯や熱風をかけない
(破損の原因)

◆ 補足 |・次にトイレを使用する前には、「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従つてください。 (☞ 13 ページ)
・給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

1 [節電]と[流す]を同じタイミングで2秒以上押す

初期設定 切



◆ 補足 |・同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。
・設定の切り替え (☞ 19 ページ)

2 水が等間隔で排出していることを確認する

3 管理者モードを解除する

◆ 補足 |・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

■配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)

配管やトイレ本体の水を抜いて凍結を防ぎます。
「温度を高くしてあたためる (47 ページ)」の手順 1～5 をしたあとに、次の手順を行ってください。

△ 注意 |・給水ホースに熱湯や熱風をかけない
(破損の原因)

◆ 補足 |・給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

1 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

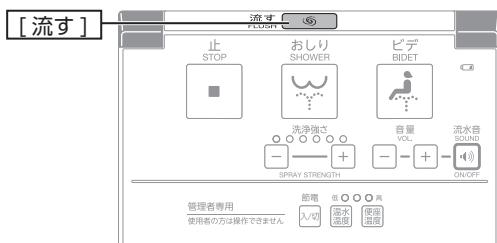
△ 注意 |・水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉めない

◆ 補足 |・水抜栓の詳しい操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

凍結しそうなとき

2 止水栓を閉める

3 便器洗浄の水が流れないと確認する



4 温水温度を「切」にする

補足 | •温水温度の設定方法 (☞ 23 ページ)

5 サイドカバーを取り外す

補足 | •本体向かって左側のサイドカバーを取り外してください。 (☞ 42 ページ)

6 給水部から水を抜く

補足 | •「ストレーナーのお手入れ」の手順 5 を行ってください。 (☞ 44 ページ)

7 温水タンクから水抜栓を外して、水を抜く



補足 | •取り外すときは水受け (約 1L 以上入るもの) を用意してください。

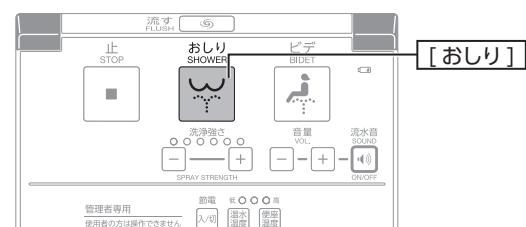
8 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける



9 水抜栓部から水漏れしていないことを確認する

補足 | •次にトイレを使用する前には「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従ってください。 (☞ 13 ページ)

10 本体バルブ内の水を抜く

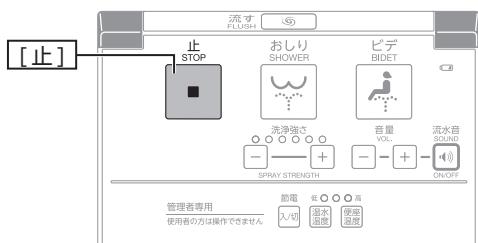


凍結しそうなとき

10



約 5 秒後、[止]を押す



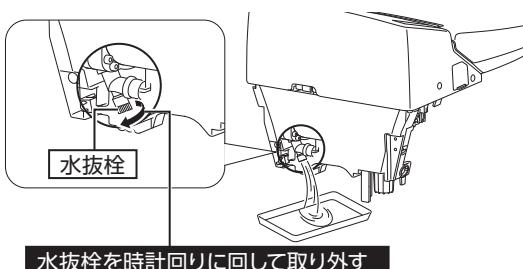
11

「ストレーナー」を取り付ける

補足 • ストレーナーのお手入れの手順⑦を行ってください (☞ 45 ページ)

12

低流動圧対応ブースター付きの場合、水抜きをする



水抜栓を時計回りに回して取り外す

補足 • 取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで受けてください。
• 水抜後は水抜栓を反時計回りに回して閉めてください。

13

サイドカバーを取り付ける

補足 • サイドカバーの取外し / 取付け (☞ 42 ページ)

14

便器内の水をすべて抜き取る

15

不凍液やバスタオルで排水口をふさぐ

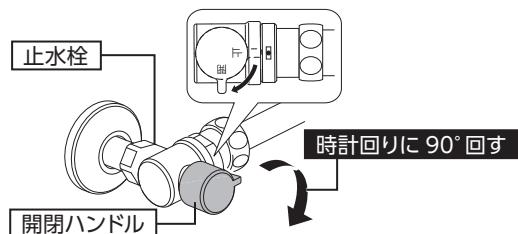
長期間使用しないとき

長期間使用しないときの対応について

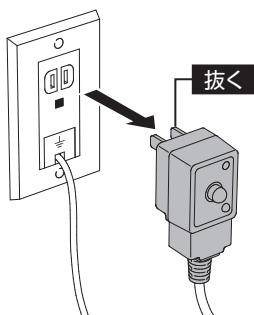
長期間使用しない場合、基本的な対応の他にそれぞれの場合で対応方法があります。故障発生時に被害が大きくなるおそれがありますので、必ず対応を行ってください。

基本的な対応

1 止水栓を閉める



2 電源プラグをコンセントから抜く



水抜きをする

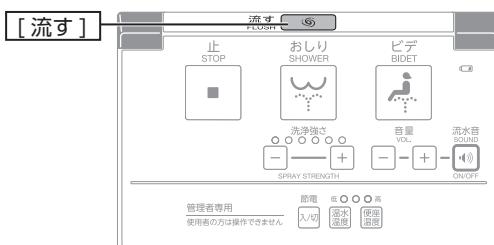
■旅行で長期間不在にする場合

■別荘に設置している場合

水が汚れて詰まつたり、凍結したりするおそれがあります。水抜きをしてください。

1 止水栓を閉める

2 便器洗浄の水が流れないと確認する



3 電源プラグをコンセントから抜く

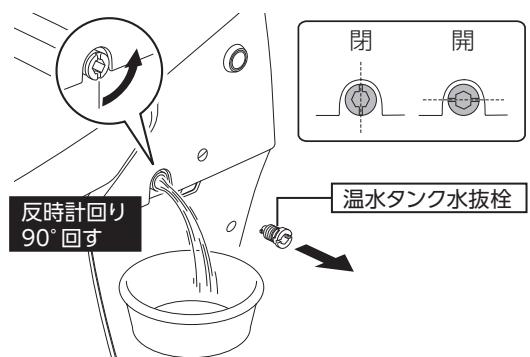
4 サイドカバーを取り外す

補足 •本体向かって左側のサイドカバーを取り外してください。(☞ 42 ページ)

5 給水部から水を抜く

補足 •「ストレーナーのお手入れ」の手順 5 を行ってください。(☞ 44 ページ)

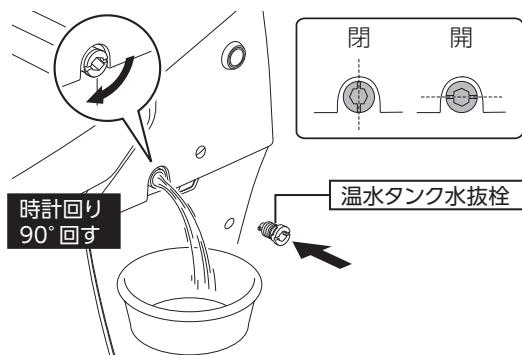
6 湯水タンクから水抜栓を外して、水を抜く



補足 •取り外すときは水受け(約1L以上入るもの)を用意してください。

長期間使用しないとき

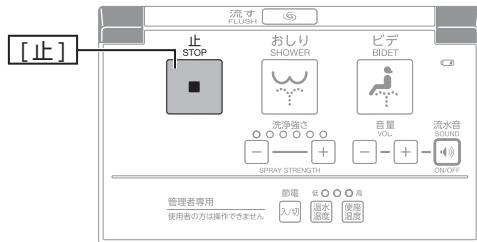
7 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける



9



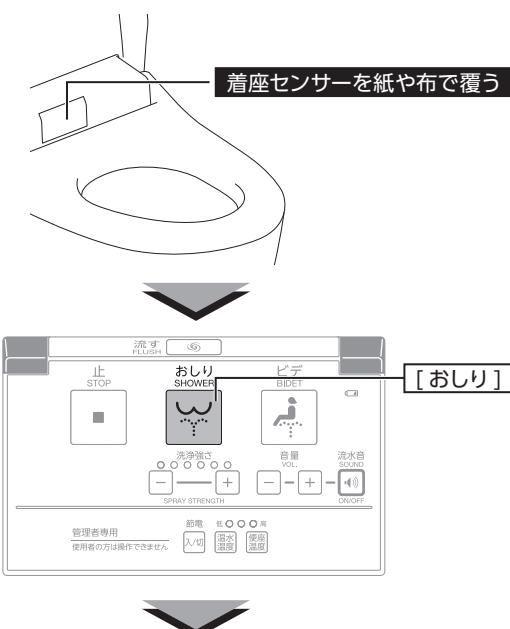
約 5 秒後、[止]を押す



8 水抜栓部から水漏れしていないことを確認する

補足 • 次にトイレを使用する前には「ご使用前の準備と確認」に記載してある手順に従ってください。(☞ 13 ページ)

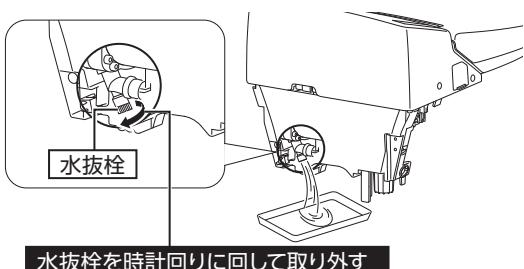
9 本体バルブ内の水を抜く



10 「ストレーナー」を取り付ける

補足 • ストレーナーのお手入れの手順⑦を行ってください(☞ 45 ページ)

11 低流動圧対応ブースター付きの場合、水抜きをする



補足 • 取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで受けしてください。
• 水抜後は水抜栓を反時計回りに回して閉めてください。

12 サイドカバーを取り付ける

補足 • サイドカバーの取外し / 取付け(☞ 42 ページ)

こんなときは

長期間使用しないとき

13 便器内の水をすべて抜き取る

14 不凍液やバスタオルで排水口をふさぐ

■凍結するおそれがある場合

15 電源プラグをコンセントに差し込む

16 配管や本体などから水を抜く

補足 •「配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)」の手順**1**を行ってください。
(☞ 48 ページ)

17 電源プラグをコンセントから抜く

リモコンの電池が切れたとき

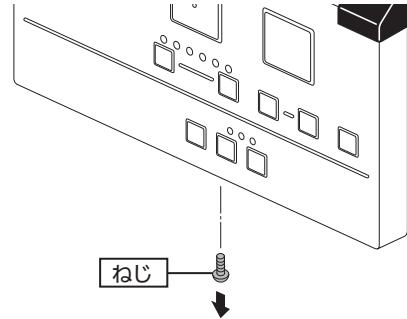
リモコン電池切れについて

リモコンの電池が消耗すると、「電池表示」が点滅します。電池を交換してください。

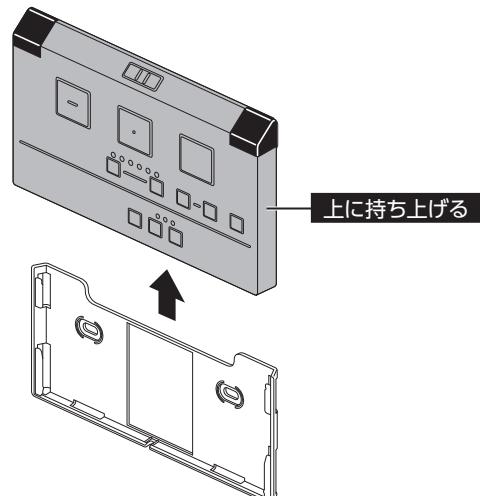
補足 •壁リモコンの場合、ボタンを操作するたびに一定時間点滅します。

壁リモコンの電池を交換する

1 ホルダーの下からねじを外す

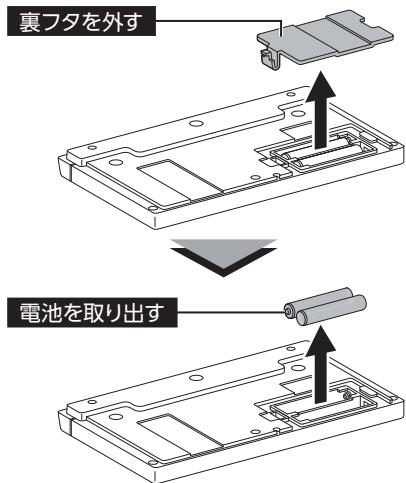


2 壁リモコンをホルダーから外す

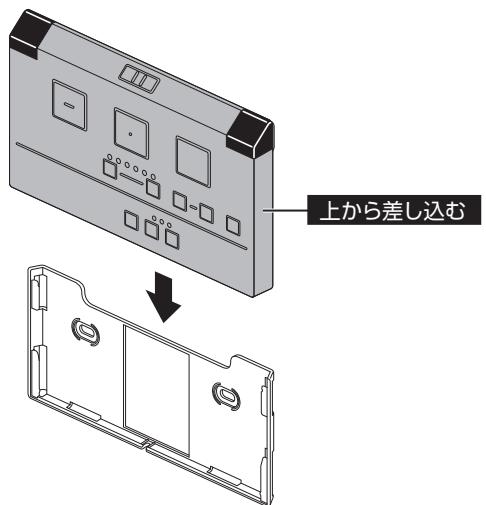


リモコンの電池が切れたとき

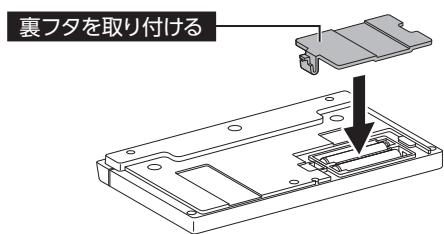
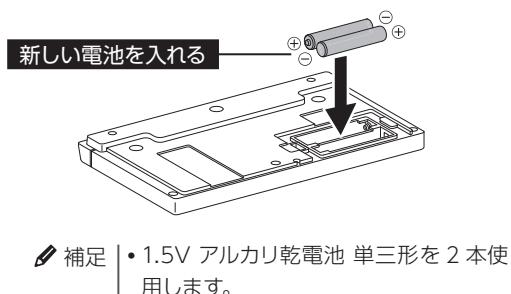
3 電池を取り出す



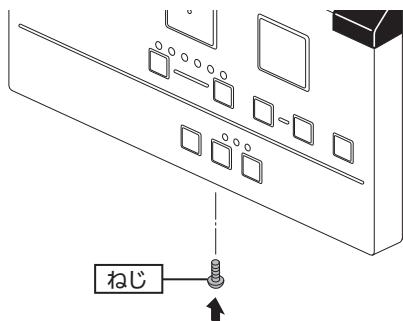
5 壁リモコンをホルダーに差し込む



4 新しい電池を入れる



6 ホルダーの下にねじを取り付ける



よくあるお問い合わせ

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に次の項目を確認してください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよく確認してください。

◆ 補足 | •各部の名称 (☞ 10,11,12 ページ)

全機能

現象	原因	処置	処置ページ
すべての機能が動作しない (本体表示部の電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていない。 電源が「切」になっている。	停電、ブレーカーなどを確認してください。 以下の操作を行って電源を「入」にし、本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。 ① [便座温度]と[温水温度]を同じタイミングで6秒以上押す。 ② [温水温度]と[節電]を同じタイミングで6秒以上押す。 ③ [止]を押す。	— 28
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	13
	漏電している。(電源プラグの表示ランプが点灯している)	電源プラグのリセットボタンを押してください。それでもランプが点灯する場合は、漏電しています。電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。	70, 裏表紙
	100V以外の電圧がかかっている。	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。	裏表紙
リモコンのボタンを押しても動作しない (本体表示部の電源ランプは点灯している)	リモコンの「電池表示」が点滅している。 ※ リモコンが本体のリモコン受光部と反対側の壁に設置してある場合や、部屋の広さ、壁の仕上げや色(特に黒っぽい色)などにより、「電池表示」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。(信号が弱くなるため)	新しい電池に交換してください。	53 53
	リモコン内の電池の $\oplus\ominus$ の方向が間違っている。	正しい方向に入れてください。	53

よくあるお問い合わせ

全機能 (つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
リモコンのボタンを押しても動作しない (本体表示部の電源ランプは点灯している)	壁リモコンの送信部、または本体のリモコン受光部を体で遮っている。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向けて[止]を押してください。本体表示部の電源ランプが点滅した場合は、商品の異常ではありません。	—
	リモコンの送信部、または本体のリモコン受光部が汚れているか、水が付いている。	汚れや水を取り除いてください。	—
	インバーター照明を使用している。	照明を消して動作を確認してください。正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	—
	リモコンの送信部、または本体のリモコン受光部に太陽光が当たっている。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	—

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	原因	処置	処置ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じている。	止水栓を開けてください。	13
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。	44
	水道圧が低い。	洗浄強さ[+]を押してください。	23
	洗浄強さが最弱付近になっている。		
	前かがみになったり、前寄りに座ったりしている。	本体の着座センサーが、着座を検知しなければ、シャワーは出ません。座り方によっては、着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	8
	温水タンクが満水になっていない。	ご使用前の準備と確認を行ってください。	13

よくあるお問い合わせ

おしり洗浄・ビデ洗浄(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
シャワーが出ない	着座センサーが検知しにくい衣服を着ている。	着座センサーに肌を検知させるようにしてください。	8
	便器を洗浄している。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、もう一度[おしり]または[ビデ]を押してください。	22
以前使用していた機種のシャワーと異なる	他機種からの買い換えの場合、製品の構造が異なるため、交換前のものに比べて以下のような場合があります。 ・シャワーが出るまでの時間が長い ・シャワーがあたる位置に違いが感じられる ・シャワーが強く感じられる、または弱く感じられる そのような場合は製品の特性であり、故障ではありません。		—
シャワーが温かくない	温水温度が低く設定されている。	温水温度を適当な温度に調節してください。	23
	長時間洗浄している。	約10分で温かくなります。貯湯式のため、洗浄の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	—
	節電が「入」になっている。	節電を解除します。	26
	給水温度やトイレの室温が低い。	故障ではありません。冬場などはシャワーの始めの温度が低い場合があります。	—
シャワーが途中で止まる	途中で腰を浮かせるなど姿勢を変えて着座センサーを入りにくくしている。	便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	8
	2分以上シャワーを使用している。	もう一度、[おしり]または[ビデ]を押してください。2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。	22
シャワーが弱い	洗浄強さが「弱」になっている。	洗浄強さの[+]を押してください。	23
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しくない。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	37

よくあるお問い合わせ

暖房便座

現象	原因	処置	処置ページ
便座が温かくない	便座温度が低く設定されている。	便座温度を適当な温度に調節してください。	21
	節電機能が作動している。	節電を解除してください。	26
	着座センサーが検知したままになっている。	便座カバー・便フタカバーを浮いた状態で取り付けると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。取り外してご確認ください。	8
	着座センサーが汚れている。	センサー部をやわらかい布で水拭きしてください。	8
省エネに配慮して、便座温度は最高 36°Cとしています。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。 トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。			—
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いている。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除してください。	21
	1 時間以上便座に座っている。	便座から一度立ち上がり、座り直してください。1時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。	—
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を温めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じことがあります。製品の特性であり、故障ではありません。		—

よくあるお問い合わせ

脱臭

現象	原因	処置	処置ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーが何かで覆われている。	着座センサーを覆っているものを取り除いてください。	8
	着座センサーが汚れている。	センサー部をやわらかい布で水拭きしてください。	8
	便フタカバーを使用している。(着座センサーが入りっぱなしになっている。)	便フタカバーを外して使用してください。	—
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」になっている。	脱臭を「入」にしてください。	26
	2時間以上便座に座っている。	便座を掃除したり、便座から一度立ち上がり、座り直してください。2時間以上検知し続けると、脱臭ファンが自動的に「切」の状態になります。	—
脱臭効果が弱くなつた(においが気になる)	脱臭カートリッジにホコリや汚れが付着している。	脱臭カートリッジを掃除してください。	41
	長期間使用している。	脱臭カートリッジを交換してください。脱臭カートリッジには寿命があり、約7年で効果がなくなります。	72

よくあるお問い合わせ

便器洗浄

現象	原因	処置	処置ページ
自動便器洗浄しない	フルオート便器洗浄が「切」になっている。	フルオート便器洗浄を「入」にしてください。	24
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていない。	止水栓を十分に開けて使用してください。	13
	ストレーナーが詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。	44
	給水ホースが折れている。	LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	裏表紙
	水道圧が低くなり、洗浄水量が少なくなっている。	洗浄水量を増やしてください。 それでも水の流れが悪く汚物が残る場合は、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	25, 裏表紙
	トイレットペーパーを多めに流している。	1度に流すトイレットペーパーの量は、5m程度を目安にしてください。	8
汚物が詰まった	止水栓を閉め、電源プラグを抜いてから詰まりを取り除いてください。自動洗浄で意図せずに水が流れ、便鉢から水があふれるおそれがあります。 ※ 市販のトイレ詰まり除去用の吸引器（商品名：ラバーカップ）などを使ってください。中型（Φ130mm程度）が最適です。		8
勝手に洗浄する	間欠流動が「入」になっている。	間欠流動を「切」にしてください。	48
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。 大洗浄と小洗浄では約1L異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大きな違いはありません。そのままご使用ください。		—
便器洗浄の音が機能部の交換前よりも大きい	交換前のものと製品の構造が異なります。交換前のものに比べて音が大きを感じられる場合があります。		—

修理を依頼する前に

よくあるお問い合わせ

擬音装置

現象	原因	処置	処置ページ
流水音が勝手に再生される	故障ではありません。 オート擬音機能が付いています。 この機能を OFF にすることができます。		20
流水音が大き過ぎる、または小さ過ぎる	初期設定の音量が適切に調節されていない。	適切な音量に調節してください。	20

お掃除リフトアップ〈お掃除リフトアップ付きの場合〉

現象	原因	処置	処置ページ
リフトアップ下降時に本体が降りきらない	本体と便器の間に異物が入っている。	異物を取り除いてください。	—

便器（陶器部）

現象	原因	処置	処置ページ
汚物が詰まった	止水栓を閉め、電源プラグを抜いてから詰まりを取り除いてください。自動洗浄で意図せずに水が流れ、便鉢から水があふれるおそれがあります。 ※ 市販のトイレ詰まり除去用の吸引器（商品名：ラバーカップ）などを使ってください。中型（φ 130mm 程度）が最適です。		8
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていない。	止水栓を十分に開けて使用してください。	13
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。	44
	給水ホースが折れている。	LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	裏表紙
	トイレットペーパーを多めに流している。	大洗浄で水を流してください。紙をたくさん使用した場合、小洗浄で紙が流れない場合があります。1度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	8,25

よくあるお問い合わせ

便器（陶器部）（つづき）

現象	原因	処置	処置ページ
小便がはね返る	(立ってする場合) 小便が跳ねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがある。	溜水面の中央をねらったほうが小便跳ねを軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便跳ねは軽減できます。	—
	(座ってする場合) 座る位置や小便をする方向によっては、跳ね返ることがある。	座る位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、跳ね返りは軽減できます。	—
床がぬれている (便器表面や止水栓がぬれている) (便器表面や止水栓はぬれていない)	水温と室温の差が大きく、結露が発生した。	換気扇や、窓を開けてください。結露を軽減できます。	—
	尿が便器を伝って床に垂れた可能性がある。	床を拭いてしばらく様子をみてください。それでも床がぬれている場合は、コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	裏表紙
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。汚物を便器から排出するときに、空気も同時に巻き込むため「ゴボゴボ」と音が発生します。「ゴボゴボ」と音が2秒以上続く場合は、通気管などを設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。		—
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		—
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり、水がはねる場合があります。		—
用便時に水がはね返る（おつり）	便器鉢内に溜水があることが原因であるが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象である。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただくと軽減できます。	—

よくあるお問い合わせ

便器（陶器部）（つづき）

現象	原因	処置	処置ページ
便器（陶器）に黒色やピンク色の汚れがある	空気中のカビやバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖した。	定期的に清掃残りがないように掃除してください。お掃除不足やお掃除ができていない部分には汚れや水アカが堆積し、黒カビ（黒い輪ジミ）や酵母菌（ピンク汚れ）が繁殖することがあります。汚れは付着しているだけですので、お掃除で除去できます。トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使用して掃除してください。漂白剤を使用すると除菌効果がありますが、強いアルカリ性の漂白剤は陶器表面を傷つけるため使用しないでください。	—
便器鉢内に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器鉢内に付着した。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。	—
便器鉢内に赤いサビの付着物がある			
便器を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがある。	市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。メタルマークの除去方法は動画でご確認いただけます。 	—
子どもの便が付着して落ちない	幼児や児童など、身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄をしても落ちない場合があります。		—

よくあるお問い合わせ

便器（陶器部）（つづき）

現象	原因	処置	処置ページ
新品なのに便器の底が黄ばんでいる・汚れている	照明器具の灯りによって、便器の影が底面に映るため、汚れのように見えることがある。	照明器具を消して、確認してください。	—
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合がある。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくした後数回洗浄してください。	8
便器の洗浄が弱くなっている	便器水たまりにある洗浄穴の周りに固いもの（尿石）が固着している可能性がある。	固着している場合は、尿石除去剤を尿石がつかるまで入れて、数時間放置させて割り箸などの硬いものでこすり取ってください。尿石除去剤が便器表面に残っているとアクリセラミックの効果が発揮できない場合があるため、中性洗剤で尿石除去剤を除去してください。 尿石が付かないように、トイレ使用時は毎回必ず洗浄をお願いします。 ※ 汚れが蓄積されることで流れが弱くなる、漏水などの不具合が起きる可能性があります。	—

その他

現象	原因	処置	処置ページ
便器下部、止水栓下部に水滴がついている	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	—
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより、便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	—
本体から「グググッ」と音がする ・電源プラグを差し込んだとき ・シャワーを止めたとき ・ノズルそうじをしたとき	故障ではありません。シャワートイレが正常に作動するために、モーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ、問題ありません。		—

よくあるお問い合わせ

その他(つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
本体表示部の電源ランプが点滅している	いずれかの機能に不具合が生じている。	電源を「切」にしても点滅している場合は、故障しています。コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。	裏表紙
本体表示部の点検ランプが点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですので、お早めに点検をお受けください。	68
シャワートイレ本体と陶器のすき間があいている	故障ではありません。 焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。そのままご使用ください。		—
漏水している	ストレーナーが緩んでいる。	ストレーナーを締めてください。	45
	ストレーナーにゴミが付着している。	ストレーナーを掃除してください。	44
	温水タンク水抜栓が緩んでいる。	温水タンク水抜栓を締めてください。	50
	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	—
お買い上げ時の設定に戻したいとき	初期設定に戻す操作をしてください。設定を変更した機能を、全てお買い上げ時に戻します。		29
便フタ・便座を開くと本体がガタつく	故障ではありません。 お掃除リフトアップ付きの場合は、リフトアップの動作のためにすき間を持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。		—
便座裏側にある後ろ足(奥の出っぱり)が便器に着いていない(浮いている)	故障ではありません。 後ろ足(奥側の出っぱり)は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		—
便座裏側にある前足の片側が便器についていない	故障ではありません。 前足の片側は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		—

製品の長期使用について

製品の長期使用に関する本体表示

■本体への表示内容

経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に次の内容の表示をしております。

- ・製造年（本体に西暦4桁で表示）
- ・注意表記



▲警告 想定安全使用期間 10年

想定安全使用期間を超えてお使いいただいだ場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

◆補足

- ・一般家庭用以外（事務所、病院など、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

■標準仕様条件

環境条件	電圧・周波数 AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
温度	20°C	JIS A4422 規格票による
給水温度	15°C・0.2MPa	JIS A4422 規格票による
負荷条件	定格負荷 製品仕様による標準設置状態	—
想定時間	4人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1回／日・人、小便男性：4回／日・人、小便女性：4回／日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。	JIS A4422 規格票による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。	

■経年劣化について

「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

製品の長期使用について

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

ご自宅の温水洗浄便座、
何年お使いですか?
故障していませんか?

長年のご使用や故障したままのご使用は、
電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。



温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

①

定期的な点検を
おすすめします。
まずは自分で
安全チェックを。

②

リコール製品や
故障した製品は
使わない
でください。

③

長期間お使いの
製品は点検と
買い替えを
ご検討ください。

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。

発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止してください。

長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- 便座がときどき冷たい(節電中は除く)。
- 便座が異常に熱いときがある。
- お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。
- 便座にひびや割れがある。
- 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- 製品や便器を伝って水漏れしている。
- 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

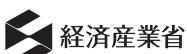
一般社団法人
発行元： 日本レストルーム工業会

<https://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ 検索



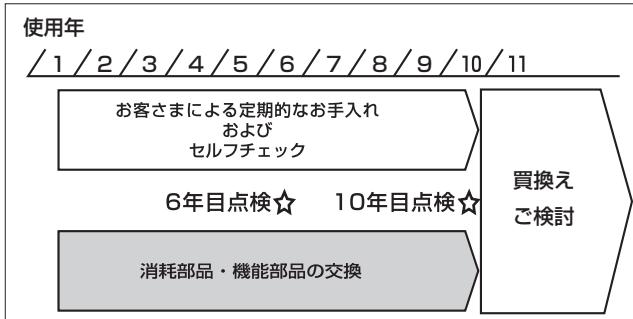
詳細はこちらを
ご覧ください



一般社団法人
リビングアメニティ協会

点検・交換をする

定期点検・部品交換などの目安



有料点検のおすすめ

有料となります。当社では各種点検をご用意しています。

有料点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

◆ 補足 | • 点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

■ 6年目点検（逆流防止装置の点検）

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。「6年目点検」として、負圧破壊装置（バキュームブレーカー）点検を受けていただくことをおすすめします。

また、「あんしん点検」も併せて受けていただくことをおすすめします。

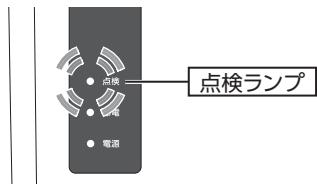
有料点検のおすすめ（つづき）

■ 10年目点検（点検ランプ点灯時）

製品を約 10 年ご使用いただくと点検ランプが点灯します。これは機器の故障ではなく、お客様に安心してご使用いただくための機能です。

長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

この機会に「10年目点検（おまかせ点検）」を受けていただくことをおすすめします。



- ◆ 補足 |
- お買い上げ時は表示機能が「切」となっており、表示しません。表示機能「入」に切り替えた場合、製品を約 10 年ご使用いただくと点検ランプが点灯します。（☞ 69 ページ）
 - ご使用条件により、点検ランプの点灯時期は異なります。（☞ 66 ページ）

■ 点検

定期点検の時期にかかわらず、お客様のご希望の時期に、サービス員が確認する「あんしん点検」をご用意しています。

日々のセルフチェックでは確認できない本体内部を含む製品の状況をサービス員が点検することで、安心してご使用いただけます。

- ◆ 補足 |
- 点検の内容は「10年目点検（おまかせ点検）」と同じです。

点検・交換をする

点検時期お知らせ表示機能の切り替え

お買上げ時は、「切」の状態となっています。「切」の状態では、製品を使用してから約10年が経過しても、点検時期お知らせ表示機能は表示されません。

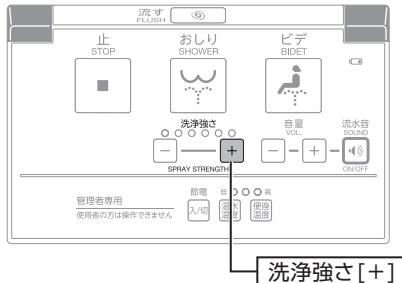
1 管理者モードに切り替える

◆ 補足 |・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

2 「点検時期お知らせ表示機能」を切り替える

初期設定 切

洗浄強さ [+] を6秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



◆ 補足 |・設定の切り替え (☞ 19 ページ)

3 管理者モードを解除する

◆ 補足 |・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

点検時期お知らせ表示機能を非表示にする

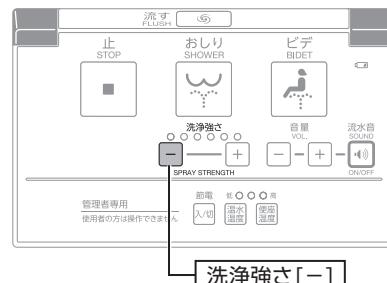
「点検時期お知らせ表示機能」が表示されてから、点検をお受けいただくまでの期間、下記の操作を行うことで、表示を約6ヵ月間非表示にすることができます。

1 管理者モードに切り替える

◆ 補足 |・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

2 「点検時期お知らせ表示機能」を非表示にする

洗浄強さ [-] を6秒以上押してください。同じ操作をするたびに「表示」「非表示」が切り替わります。



◆ 補足 |・設定の切り替え (☞ 19 ページ)

3 管理者モードを解除する

◆ 補足 |・管理者モードの設定 (☞ 19 ページ)

点検・交換をする

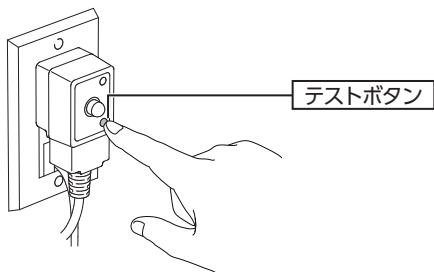
電源プラグを点検する (漏電保護機能付きの場合)

点検の目安 月に1～2回程度

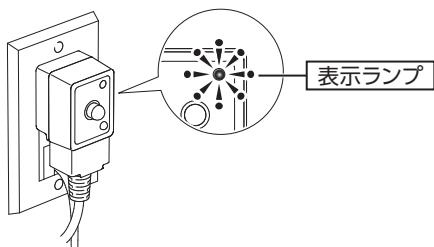
漏電保護機能付の場合は機能部品番に「RB」「RBC」が付いています。(例: DV-K213-RB、DV-K213 - RBC)

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。次の手順で点検してください。

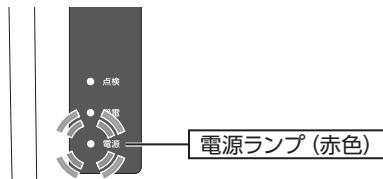
1 本体の電源が「入」の状態で、電源プラグの「テストボタン」を押す



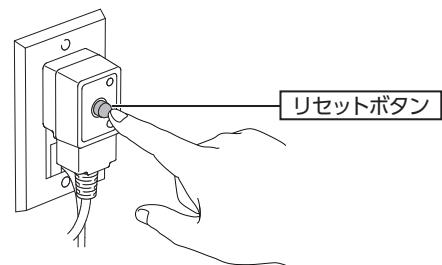
2 「表示ランプ」の点灯を確認する



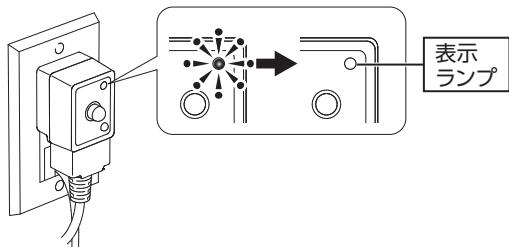
3 「電源ランプ」の消灯を確認する



4 電源プラグの「リセットボタン」を押す

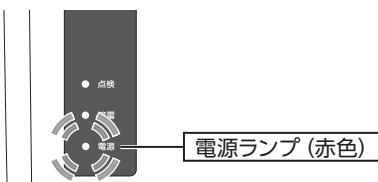


5 「表示ランプ」の消灯を確認する



補足 • この点検をすると、「ステップ節電」「ワンタッチ節電」の設定が解除されます。

6 「電源ランプ」の点灯を確認する



点検・交換をする

セルフチェックをする

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身で行なうことができます。次の表をもとに、定期的な点検をお願いいたします。

- ▲ 警告**
 - ・セルフチェック表の1項目でも該当する場合は、次のことをする
 - ・コンセントから電源プラグを抜く
 - ・止水栓を閉める
 - ・販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターに連絡する
(火災・感電・室内浸水の原因)
- お願い**
 - ・セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。
 - ・セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

- ◆ 補足**
 - ・点検目安は当社おすすめの期間です。

セルフチェック表

状況	点検目安	実施日					
便座・便座コードのチェック表							
<input type="checkbox"/> 本体や便座にひびや割れがある	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> ゴム足が外れている	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときや冷たいときがある	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 便座がスムーズに開閉できない	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 便座のガタツキがある	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れのチェック表							
<input type="checkbox"/> 水漏れしている							
● お願い <ul style="list-style-type: none"> ・同時に、不具合がないことを確認してください。 	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグのチェック表							
<input type="checkbox"/> 電源コードが熱くなっている	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> 傷んだり、挟み込んだりしている	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
<input type="checkbox"/> シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)している	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源プラグにほこりがたまっている							
<input type="checkbox"/> たまっている場合は、ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

点検・交換をする

別売品を購入する

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。別売品の購入、お問い合わせは裏表紙をご参照ください。

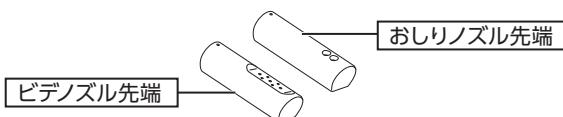
LIXIL オンラインショップ

別売品をWEBで購入



■おしりノズル先端（品番：CWA-240） / ビデノズル先端（品番：CWA-221）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 37 ページ）



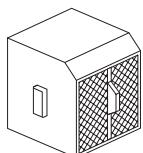
■ノズルシャッター (品番：CWA-247)

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。（☞ 39 ページ）



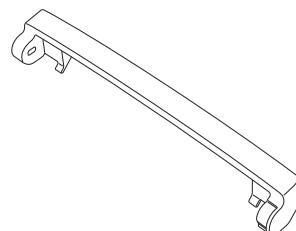
■脱臭カートリッジ (品番：CWA-29)

脱臭モードでトイレの臭いを取るためのものです。交換するだけで、簡単に脱臭効果がもどります。脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。（☞ 41 ページ）



■便座ストッパー（品番：CWA-41A）

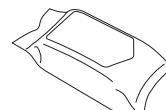
便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



◆補足 •便座ストッパーをご使用の際、節電機能は使用できません。

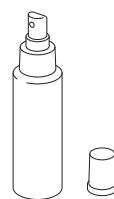
■トイレ用おそうじティッシュ (品番：CWA-36-4SET)

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。（☞ 31 ページ）



■シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シックと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になります。（☞ 31 ページ）



修理を依頼する

修理を依頼する前に

故障ではない場合があります。「よくあるお問い合わせ」(☞ 55 ページ) をご参照ください。

それでも解消されない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

- お願い
- ・次の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。
 - ・取扱説明書どおりに使用しても不明な点がある
 - ・コードの痛みやコンセントのガタつきがある
 - ・コンセントや電源プラグ、コードの過熱

連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください。)
3. お取付日 (保証書をご参照ください。)
4. 故障内容・異常の状況 (できるだけ詳しく)
5. 訪問ご希望日



保証書を確認する

点検の目安 取付日から 2 年間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。

- お願い
- ・記載内容を確認していただき、大切に保管してください。
- ◆ 補足
- ・保証期間内でも有料になることがあります。

- ◆ 補足
- ・ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

修理を依頼する

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後 15 年です。

点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

- ◆ 補足
- ・補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

各種お問い合わせ先

裏表紙をご参照ください。

保証を延長する

延長保証について

通常、保証期間は2年間ですが、「所有者登録」をされますと無料でさらに1年延長されます。

- ◆ 補足
- ・詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
 - ・非住宅でご使用の場合は、WEBからの登録のみとなります。

所有者登録をする

1 お客様の製品情報を確認する



2 スマートフォンかパソコンから、次のURLにアクセスする

<https://www.lixil.co.jp/support/>



・こちらからでもアクセスできます。→

3 所有者登録フォームに必要事項を入力して製品情報を登録する

- ◆ 補足
- ・ご登録にはメールアドレスが必要になります。
 - ・製造番号、品名、品番の入力が必要になります。
 - ・マイページから登録製品および延長保証書の確認ができます。

4 保証書に次の内容を記入する

- ・製造番号
- ・品名
- ・品番

個人情報のお取扱いについて

ご登録いただいたお客様の情報は、次の目的に利用させていただきます。

- ・お客様に対してダイレクトメール、電子メールなどによる情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
- ・所有者登録の特典やキャンペーンなどで当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
- ・商品やサービスについてお客様の利用状況や満足度を調査するため

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご参照ください。

仕様

◆ 補足 |・グレードの型番は「品番対応一覧」をご参照ください。(☞ 15 ページ)

シリーズ名		パブリック向けタンクレストイレ	
グレード	K213GL/K213L	K213G/K213	
定格電源		AC100V 50/60Hz	
定格消費電力		350W	
省エネ区分		貯湯式	
年間消費電力量 ^{※1}	182kWh/ 年 (節電機能切時 : 251kWh/ 年)	176kWh/ 年 (節電機能切時 : 245kWh/ 年)	
給水圧力	最低必要圧力 最高圧力	0.07MPa 以上 (17L/ 分以上) (流動時) 0.75MPa (静止時)	
使用温度範囲		0°C~ 40°C	
商品寸法		幅 417mm × 奥行 635mm × 高さ 576mm	
商品質量	床排水 (新築) ・ 床上排水 : 約 32kg (機能部 : 約 10kg、便器部 : 約 22kg) 床排水 (リフォーム) : 約 34kg (機能部 : 約 10kg、便器部 : 約 24kg)		
電源コード (電源接続方式)		有効長さ : 1.0m (アースコード付)	
便器部	洗浄水量	大洗浄 5.0L、小洗浄 3.8L (ECO5 モード解除時 : 大洗浄 : 8L、小洗浄 6L)	
	給水方式	水道直結式	
	便器洗浄方式	ダイレクトバルブ式	
	サイズ	大型	
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式
		給湯方式 (タンク容量)	貯湯式 (0.73L)
		おしり吐水量	0.40 ~ 0.65L/ 分 (6 段階調節) 供給水圧 0.2MPa のとき
		ビデ吐水量	0.60 ~ 0.90L/ 分 (6 段階調節) 供給水圧 0.2MPa のとき
		温水温度	水温・約 32°C~ 40°C (計 4 段階切替) ワンタッチ節電 (8h) 設定時 : 水温
		ヒーター容量	300W
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空焚検知回路
	暖房便座	表面温度 ^{※2}	室温・約 28°C~ 36°C ^{※2} (計 4 段階切替) ワンタッチ節電 (8h) 設定時 : 室温
		ヒーター容量	48W
	脱臭	安全装置	温度ヒューズ
		脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式
		脱臭能力	パワー脱臭時 : 0.11m³/ 分 フルパワー脱臭時 : 0.14m³/ 分
	擬音装置	音量	切・約 35dB ~ 約 75dB (計 7 段階調節)
		再生機能	自動再生・途中停止
リモコン	壁リモコン	寸法	幅 176mm × 奥行 24mm × 高さ 110mm
		電源	単三アルカリ乾電池 : 2 本
		通信方式	赤外線式
	スマートリモコン	寸法	幅 239 mm × 奥行 29 mm × 高さ 45 mm
		電源	単四アルカリ乾電池 : 2 本
		通信方式	赤外線式
	大型壁リモコン (発電式)	寸法	幅 210 mm × 奥行 25 mm × 高さ 120 mm
		電源	発電式 (電源・電池不要)
		通信方式	電波式
	洗浄壁リモコン タッチスイッチ	寸法	幅 70 mm × 奥行 25 mm × 高さ 120 mm
		電源	発電式 (電源・電池不要)
		通信方式	電波式
	洗浄壁リモコン センサースイッチ	寸法	幅 70 mm × 奥行 25 mm × 高さ 120 mm
		電源	単三アルカリ乾電池 : 2 本
		通信方式	電波式

※ 1: 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。

※ 2: 省エネに配慮して、便座温度は最高 36°C としています。

使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。

トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

■上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件などにより異なる場合があります。

機能 / 性能について

KILAMIC 抗菌商品について

KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。

また、細菌が全くなくなるわけではありません。従つて感染などが防げるわけではありません。

抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。

KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

著作権など

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお本文中では™、®マーク表記については一部記載していません。

キレイ便座について

キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

スローダウン便座について

便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を低減します。

パワーストリーク洗浄について

勢いのよい水流で、グルッと強力に洗い流します。

超節水トイレについて

従来品に比べ、3～5日でおフロ1杯以上の節水効果があります。

修理・お取扱いのご相談

次の流れで、順にご確認・お問い合わせください。

1 本冊の「よくあるお問い合わせ」(☞ 55 ページ) を確認する

故障ではない場合や、お客さまご自身で解決できる場合があります。

2 改善しない場合は、お求めの取扱店に相談する

お買い上げ時に次の内容を記入しておくと、修理対応がスムーズです。

トイレ シリーズ名・品番		ご購入年月日	
取扱店名		取扱店電話番号	

お取扱店がわからない、ご連絡できない場合は、LIXIL のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

インターネットからのお問い合わせ

LIXIL 公式ホームページ お客さまサポート <https://www.lixil.co.jp/support/>

LIXIL お客さまサポート

検索



ご利用できるコンテンツ

- メールでのお問い合わせ
- WEB 修理受付
- WEB パーツ販売 (※)
- Q&A
- 所有者登録
- 長期保証サービス
- お手入れ動画

商品のお問い合わせ

お客さま相談センター

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-400 または TEL 0562-40-4050

FAX ☎ 0120-179-430 または FAX 0562-40-4053

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センター

受付時間：9:00～19:00 (年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索



<https://www.lixil.co.jp/support/>

所有者登録・延長保証のお問い合わせ

お客さま保守センター

受付時間：平日 10:00～17:00 (土日祝日・夏季休暇・年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-473

別売品のご購入

部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL パーツショップ [水まわり部品販売]

受付時間：平日 9:00～17:00 (土日祝日・ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)

TEL ☎ 0120-126-015 または <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

※パーツショップは、お客さまご自身でお取換える部品を宅配サービスにて取扱う窓口です。

お取換作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。

個人情報のお取扱いについて

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。